

教 育 要 覧

令 和 8 年 度



海 老 名 市 教 育 委 員 会

目 次

第1章 教育行政	1	第5章 文化財	95
1 教育委員会	2	1 文化財関係施設	96
2 教育委員会会議等	3	2 文化財の保護	100
3 教育計画	8	3 文化財の活用	101
4 組織図	22	4 指定・登録文化財等一覧 . .	104
5 事務分掌	23		
6 職員数	25	<資料>	107
		1 歴代教育委員・教育長 . .	108
第2章 教育財政	27	2 附属機関委員名簿	111
1 教育費の推移	28	3 海老名市教育委員会のあゆみ . .	122
2 令和8年度歳出当初予算 .	29		
第3章 学校教育	31		
1 学校施設	32		
2 児童生徒数・学級数 . . .	34		
3 学校教育の方針	35		
4 学校紹介	38		
5 教職員研修	44		
6 教育支援	54		
7 教育相談	64		
8 安全対策	65		
9 学校保健	69		
10 学校給食	72		
11 就学援助	75		
12 奨学金	76		
13 保護者負担軽減	77		
第4章 社会教育・その他 . .	81		
1 社会教育の推進	82		
2 子ども・学校支援事業 . .	87		
3 青少年健全育成	89		
4 図書館	90		
5 学童保育クラブ	92		
6 ライフ・スタディサポート事業 . .	93		



第1章 教育行政

1 教育委員会

(令和8年4月1日時点)

職 名	氏 名	就任年月日	任 期
教育長	伊 藤 文 康	平成27年4月1日	令和6年4月1日 ～令和9年3月31日
教育長 職務代理者	濱 田 望	令和2年2月1日	令和6年2月1日 ～令和10年1月31日
委 員	武 井 哲 也	令和3年10月1日	令和4年10月1日 ～令和8年9月30日
委 員	海 野 望	令和5年4月1日	令和7年12月13日 ～令和11年12月12日
委 員	藤 吉 ひとみ	令和6年12月14日	令和6年12月14日 ～令和10年12月13日



教育長
伊藤 文康



委員
武井 哲也



委員
藤吉 ひとみ



教育長職務代理者
濱田 望



委員
海野 望

2 教育委員会会議等

(1) 令和7年度活動状況

(令和7年4月1日～令和8年3月31日)

月	日	種 別	内 容
4	1 (火)	その他の活動	教職員辞令交付式
	7 (月)	その他の活動	中学校入学式
	8 (火)	その他の活動	小学校入学式
	18 (金)	その他の活動 定例会	教育課題研究会 報告事項6件 ①海老名市教育委員会関係職員の人事異動について ②海老名市教育委員会非常勤特別職（学校薬剤師）の委嘱について ③海老名市教育委員会非常勤特別職（奨学生選考委員会委員）の委嘱について ④海老名市教育委員会非常勤特別職（学校運営協議会委員）の委嘱について ⑤海老名市教育委員会非常勤特別職（教育支援センター運営協議会委員）の委嘱について ⑥海老名市教育委員会非常勤特別職（いじめ問題対策連絡協議会委員）の委嘱について 審議事項1件 ①令和7年度（令和6年度対象）教育委員会事務の点検・評価実施方針及び評価対象について
	20 (日)	総合教育会議	第1回総合教育会議（えびなこどもセンター 201会議室） 協議事項2件 ①フルインクルーシブ教育の推進 ②積極的な学校再編計画の推進
5	28 (水)	その他の活動 定例会	教育課題研究会 報告事項2件 ①令和7年度海老名市一般会計歳入歳出補正予算（第2号）のうち教育に関する部分に係る意見の申出について ②物品の取得に関する意見の申出について 審議事項7件 ①海老名市教育委員会教育長に対する事務の委任等に関する規則の一部改正について ②海老名市教育委員会事務決裁規程の一部改正について ③海老名市文化財保護審議会への諮問について ④令和7年度海老名市教育委員会非常勤特別職（海老名市文化財保護審議会委員）の委嘱について ⑤令和7年度海老名市奨学生選考委員会への諮問について ⑥海老名市立学校における学校教育法の施行に関する規則の一部改正について ⑦個人情報開示請求の審査請求に対する個人情報保護審査会への諮問について
	30 (金)	その他の活動	関東甲信越静岡市町村教育委員会連合会第1回総会
	31 (土)	その他の活動	小学校運動会視察（海老名小）

月	日	種 別	内 容
6	2 1 (土)	その他の活動	教育長・教育委員と語る会 (P T A)
	2 6 (木)	その他の活動 定例会	教育課題研究会 報告事項 2 件 ①海老名市教育委員会関係職員の人事異動について ②令和 7 年度海老名市教育委員会非常勤特別職 (社会教育委員) の委嘱について 審議事項 3 件 ①海老名市教育委員会公印規程の一部改正について ②海老名市学童保育事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について ③令和 7 年度海老名市奨学生の決定について
7	2 4 (木)	その他の活動 定例会	教育課題研究会 報告事項 2 件 ①海老名市教育委員会関係職員の人事異動について ②工事請負契約の締結に関する意見の申出について 審議事項 1 件 ①令和 8 年度使用教科用図書採択について
8	3 (日)	総合教育会議	第 2 回総合教育会議 (つちのこ保育園) 協議事項 2 件 ①「幼・保・小の架け橋プログラム」の実践 ②スクールライフサポートの充実
	1 8 (月)	その他の活動	教育課題研究会 令和 7 年度 (令和 6 年度対象) 教育委員会事務の点検・評価実施方針及び評価における教育委員会評価の決定
	2 1 (木)	その他の活動 定例会	教育課題研究会 報告事項 5 件 ①工事請負契約の締結に関する意見の申出について ②令和 7 年度海老名市一般会計歳入歳出補正予算 (第 4 号) のうち教育に関する部分に係る意見の申出について ③令和 6 年度海老名市一般会計歳入歳出決算認定のうち教育に関する部分に係る意見の申出について ④海老名市学校給食費に関する条例の一部改正について ⑤条例の一部改正に係る意見の申出について 審議事項 2 件 ①令和 7 年度 (令和 6 年度対象) 教育委員会事務の点検・評価について ②海老名市立図書館条例施行規則の一部改正について
	2 2 (金)	その他の活動	ひびきあう教育研究発表大会
	2 5 (木)	その他の活動 定例会	教育課題研究会 審議事項 2 件 ①海老名市指定重要無形民俗文化財の指定及び保持団体の認定について ②令和 7 年度海老名市奨学生選考委員会への諮問について

月	日	種 別	内 容
10	8(水)	その他の活動	中学校体育祭視察（有馬中）
	11(土)	その他の活動	小学校運動会視察（中新田小）
	18(土)	その他の活動	小学校運動会視察（有馬小、杉本小）
	21(火)	その他の活動 定例会	教育課題研究会 報告事項 2 件 ①海老名市教育委員会関係職員の人事異動について ②条例の一部改正に係る意見の申出について（海老名市学童保育事業の設備及び運営に関する基準を定める条例） 審議事項 2 件 ①令和 7 年度末県費負担教職員人事異動方針について ②令和 7 年度海老名市奨学生の決定について
	24(金)	その他の活動	中学校体育祭（柏ヶ谷中）
	25(土)	その他の活動	郷土芸能祭
	26(日)	総合教育会議	第 3 回総合教育会議（さくらい幼稚園） 協議事項 2 件 ①魅力ある学校給食の実現 ②教育支援体制の充実
	27(月)	その他の活動	小学校運動会視察（東柏ヶ谷小）
	29(水)	その他の活動	中学校体育祭視察（海西中）
	31(金)	その他の活動	小学校連合運動会（総合運動公園）
11	1(土)	その他の活動	いきいきシンポジウム
	14(金)	その他の活動	神奈川県市町村教育委員会連合会研修会
	27(木)	その他の活動 定例会	教育課題研究会 報告事項 4 件 ①令和 7 年度海老名市一般会計歳入歳出補正予算（第 5 号）のうち教育に関する部分に係る意見の申出について ②令和 7 年度海老名市一般会計歳入歳出補正予算（第 6 号）のうち教育に関する部分に係る意見の申出について ③工事請負契約の変更に関する意見の申出について ④令和 7 年度全国学力・学習状況調査の公表内容について 審議事項 1 件 ①個人情報開示決定（一部開示）に係る審査請求に対する裁決について
12	17(水)	その他の活動	教育委員辞令交付式
	19(金)	その他の活動 定例会	教育課題研究会 報告事項 1 件 ①令和 7 年度海老名市一般会計歳入歳出補正予算（第 7 号）のうち教育に関する部分に係る意見の申出について
1	9(金)	その他の活動	賀詞交歓会（市長、学校長、教育委員）
	12(月)	その他の活動	海老名市二十歳の祝典

月	日	種 別	内 容
1	20(火)	その他の活動 定例会	教育課題研究会 報告事項 2 件 ①工事請負契約の変更に関する意見の申出について ②令和7年度海老名市一般会計歳入歳出補正予算（第9号）のうち教育に関する部分に係る意見の申出について 審議事項 1 件 ①海老名市教育委員会におけるサイバーセキュリティを確保するための方針の策定について
	23(金)	その他の活動	太田市教育委員会視察対応
	25(日)	その他の活動	新春はやし叩き初め大会
	27(火)	その他の活動 臨時会	教育課題研究会 審議事項 2 件 ①海老名市学校給食費に関する条例の一部改正について ②令和8年度以降における海老名市学校給食費に関する方針について（日程追加）
2	1(日)	総合教育会議	第4回総合教育会議（オアフクラブ学童保育） 協議事項 3 件 ①放課後児童クラブの充実 ②積極的な学校再編計画の推進 ③健康・安全安心のための環境整備
	19(木)	その他の活動 定例会	教育課題研究会 報告事項 3 件 ①条例の一部改正に係る意見の申出について（海老名市学校給食費に関する条例） ②令和7年度海老名市一般会計補正予算（第12号）のうち教育に関する部分に係る意見の申出について ③令和8年度海老名市一般会計予算のうち教育に関する部分に係る意見の申出について 審議事項 6 件 ①令和8年度（令和7年度対象）教育委員会事務の点検・評価実施方針及び評価対象について ②海老名市立小学校及び中学校の管理運営に関する規則の一部改正について ③海老名市立学校の教職員に関する業務量管理・健康確保措置実施計画の策定について ④海老名市学校給食費に関する条例施行規則の一部改正について ⑤第3期海老名市社会教育計画の策定について ⑥市費非常勤講師の配置について

月	日	種 別	内 容
3	6 (金)	その他の活動 定例会	教育課題研究会 審議事項 4 件 ①海老名市教育委員会事務局及び教育機関の組織等に関する規則等の一部改正について ②海老名市立小学校及び中学校の体育施設の開放に関する条例施行規則の一部改正について ③海老名市教育委員会非常勤特別職（学校医・学校歯科医）の委嘱について ④県費負担教職員の人事異動について
	1 1 (水)	その他の活動	中学校卒業式
	1 9 (木)	その他の活動	小学校卒業式
	3 1 (火)	その他の活動	教職員辞令交付式

（２） 教育委員会会議の開催時期等

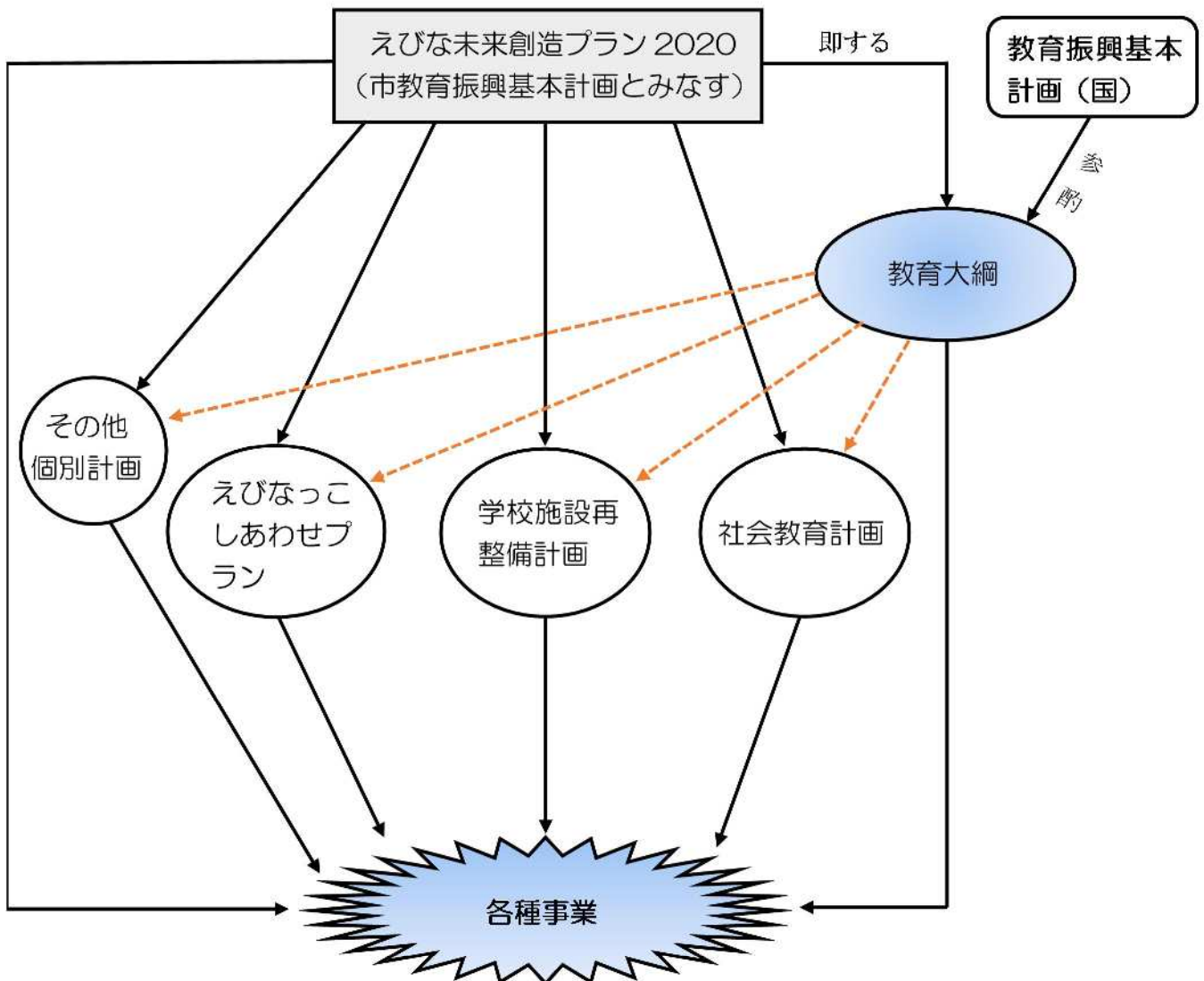
開催時期	会議時間	審議事項	報告事項	傍聴者数
令和 7 年 4 月 定例会	1 時間17分	1 件	6 件	1 名
5 月 定例会	1 時間17分	7 件	2 件	1 名
6 月 定例会	1 時間00分	3 件	2 件	1 名
7 月 定例会	0 時間55分	1 件	2 件	3 名
8 月 定例会	1 時間28分	2 件	5 件	0 名
9 月 定例会	0 時間47分	2 件	0 件	0 名
10月 定例会	0 時間39分	2 件	2 件	0 名
11月 定例会	1 時間16分	1 件	4 件	0 名
12月 定例会	0 時間50分	0 件	1 件	0 名
令和 8 年 1 月 定例会	0 時間50分	1 件	2 件	0 名
1 月 臨時会	0 時間36分	2 件	0 件	0 名
2 月 定例会	1 時間47分	6 件	3 件	1 名
3 月 定例会	1 時間09分	4 件	0 件	0 名

3 教育計画

(令和8年4月1日時点)

(1) 海老名市の教育計画の相関図

各種教育計画（イメージ図）



えびな未来創造プラン2020・・・行政を運営するための最上位計画
 海老名市教育大綱・・・・・・・・・・地方教育行政の組織及び運営に関する法律第
 1条の3の規定により策定した、海老名市の
 教育、学術及び文化芸術に関する総合的な施
 策の大綱
 えびなっこしあわせプラン・・・家庭・学校・地域・行政が力を合わせて取り
 組む教育計画
 学校施設再整備計画・・・・・・・・・・公共施設再編（適正化）計画の分野別計画
 社会教育計画・・・・・・・・・・教育大綱に掲げる「子どもと大人がともに成
 長する社会」の構築を基本目標とする計画

(2) えびな未来創造プラン2020

ア 概要

10年後のめざす姿である「みんなが笑顔 住みやすいまち えびな」の実現に向けて、まちづくりの方針を定める市の羅針盤となるもので、計画的に行政を運営するための最上位計画です。

イ 計画期間

10年間（令和2年度から令和11年度まで）

なお、社会経済情勢等の変化に伴い、本計画の方向性に大きな影響を及ぼす事象が生じた場合は、見直しを図るものとします。

ウ 所管課

企画財政課

エ 内容

次ページ以降に抜粋を掲載しています。

えびな 未来創造プラン2020

み	ん	な	が	笑	顔	
住	み	や	す	い	ま	ち





5

教育

豊かな学びを育むまち

本市の21世紀の教育理念「ひびきあう教育」のもと、子どもたちの「しあわせ」、家庭・学校・地域の「しあわせ」を目指します。

本市の学校教育の方針「えびなっ子しあわせプラン」に基づき、えびなっ子の今と将来のしあわせのために、義務教育9年間で確実に「学力」「集団力」「健康安全力」を身につけることを目指し、「授業改善」「新たな教育課程」「小中一貫教育」「コミュニティスクール」の3つを重点に学校教育に取り組みます。

子どもと大人がともに成長する社会の実現を目指し、図書館の進化、文化財の積極的な活用、生涯学習の充実などに取り組みます。

新たな学校施設への取り組みを進めるとともに、子育て環境の充実を図ります。

これらの取り組みを通じ、「しあわせをはぐくむ教育のまち」海老名を実現いたします。



5-1

ひびきあう教育の実現

5 教育

5-1

ひびきあう教育の実現

めざす姿

- ① 学校施設の再整備などを通じ、子どもたちが安全で快適な学校で学習できるような教育環境の維持向上が図られています。
- ② 児童生徒の安全安心及び学力向上に向け、市費で教職員を配置することにより、学習環境の充実が図られています。
- ③ 地産地消で安全安心かつ、栄養バランスのとれた美味しい給食が提供されています。
- ④ 学習指導要領（※61）の改訂内容を踏まえ、ICT 機器の活用による児童生徒の情報活用能力の育成が図られています。
- ⑤ 教職員の主体的な研究活動を支援するとともに、教職員に対する効果的な研修を実施することにより、教育指導・支援の充実が図られています。
- ⑥ 児童生徒の英語による自己表現力や、コミュニケーション能力を伸ばし、グローバル化に対応できる人材を育成しています。
- ⑦ 「小学校・中学校のつながり」「地域・学校のつながり」が充実し、子どもの豊かな「学び」「育ち」が図られています。
- ⑧ 支援を必要とする児童生徒が、安心して、充実した学校生活を送れるよう、支援体制の整備・充実が図られています。
- ⑨ 学校は、乳幼児から高齢者まで集い、学ぶことのできる、地域コミュニティの拠点施設となっています。
- ⑩ 図書館は、子どもから大人まで、多くの市民が集う「学び」と「コミュニティ」の拠点となっています。
- ⑪ 子どもたちの社会教育活動の充実を図るため、補助支援を継続しつつ、自発的な活動を支援しています。
- ⑫ 市民の自己啓発を通して生きがいを持ち、交流の場が図られています。
- ⑬ 学童保育のニーズは、今後も増加が見込まれるため、受け入れ先の確保ができるよう支援を行っています。
- ⑭ 市民にとって開かれた教育委員会になっています。
- ⑮ 温故館や相模国分寺跡などは、海老名駅北口などからのアクセス向上や、内容の充実により、海老名の歴史・文化財の情報発信拠点となっています。
- ⑯ 誰もがいつでも必要な資料を閲覧できるように、歴史資料のデジタル化や積極的な公開を継続しています。

関連する 主な個別計画等

■ 教育大綱

■ えびなっ子しあわせプラン

■ 社会教育計画

■ 学校施設再整備計画

関連する SDGs



地域とのつながりのなかで教育を行い、
生涯学べる場所があるから、
みんなが笑顔になります。



今後の方針

- 学校施設の整備にあたっては、人口動向や社会情勢等を的確に見極め、統廃合、複合化、多機能化等に取り組みます。また、学校施設再整備計画については、一定の周期で見直しを図ります。(① ⑨)
- 弁護士による法律相談や、効果的な非常勤講師の配置により、いじめ等に対する適切な体制を確保します。(②)
- 効果的な非常勤講師の配置により、指導体制の充実や、教育的な課題解決を図ります。(②)
- 学校給食のあり方について、検討委員会を立ち上げ、今後の方向性を定めます。(③)
- 教員の専門性や指導力を高めるとともに、多様化する教育課題などに対応するため、効果的な研修体制や支援体制を整えます。(④ ⑤)
- 教職員の自主性と質の向上及び各校の特色ある学校運営等を実践するための補助を行います。(⑤)
- ネイティブ(※62)な英語に慣れ親しむとともに、コミュニケーション能力の向上に向けて、外国人英語指導講師による教育支援を充実し、英語教育を推進します。(⑥)
- 各学校・地域の特色を活かして、小中一貫教育や海老名型コミュニティ・スクール(※63)を推進します。(⑦)
- 補助指導員(※64)等、専門性の高い職員を派遣し、一人ひとりのニーズに応じた支援を行います。(⑧ ⑪)
- 学校に心理の専門家等を派遣し、教育相談体制の充実を図ります。(⑧)
- 子どもの学習支援を通じて、高校等の進学や社会的自立を促し、将来の貧困連鎖からの脱却を目指します。(⑧)
- 指定管理者と協力し、市立図書館の管理運営を進化させます。(⑩)
- 多くの市民の意見を聞いて、「まな BINA」(※65)の講座の充実・向上を図ります。(⑫)
- ニーズに応じた学童保育の確保や安定的な運営のための支援を図ります。(⑬)
- 教育委員会会議や総合教育会議などの資料・議事録等をホームページに適宜公開し、市民に開かれた教育委員会にします。さらに、首長との連携強化による円滑かつ柔軟な教育行政を推進します。(⑭)
- 相模国分寺跡を中心に整備・活用を進めます。(⑮)
- 温故館の展示や情報発信の取り組みを継続するとともに、電子化による歴史資料や文化財の公開を進めます。(⑯)

市民の声



- 小中一貫、小中統廃合、英語教育など推進してほしい。
- 高齢者と小学生などの交流、世代間のコミュニケーションの場づくりを進めてほしい。
- 理想の教育の実践に向け、考え方を教えた方が良い。
- 学童保育の充実を図ってほしい。
- 公立中学校給食の充実を図ってほしい。
- 生涯学習の講習会や教室など考え増やしてほしい。
- 文化財の公開を継続してほしい。

※ 61 どの学校でも一定の教育水準が保てるよう、文部科学省が定めている教育課程の基準

※ 62 ネイティブ・スピーカー(母語話者)のこと。土地の人及びある言語を母語とする人のこと。

※ 63 地域住民が参画する学校運営協議会制度

※ 64 小中学校で通常学級に在籍する児童生徒への個別指導等を行う海老名市の非常勤職員

※ 65 海老名市教育委員会において、社会教育の視点から市民の交流の場、学びの場として行っている講座

1 市民生活

2 健康・福祉

3 経済・環境

4 まちづくり

5 教育

6 消防・防災

7 行財政運営

8 モーショントラック

(3) 海老名市教育大綱

ア 概要

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第1条の3の規定により策定した、海老名市の教育、学術及び文化芸術に関する総合的な施策の大綱です。

イ 計画期間

4年間（第3期 令和5年度から令和8年度まで）

ウ 所管課

教育総務課

エ 内容

次ページ以降に掲載しています。

「しあわせをはぐくむ教育」のまち海老名

新たな学校の枠組みづくりの推進

- 学校経営の在り方と主体的な予算編成の検討
- 学校のDX化の促進
- 「幼保小の架け橋プログラム」の実践
- 新たな部活動の在り方への移行

教育施策の5つの柱

わたしたちは「ひびきあう教育」の理念のもとに

- こどもたちひとりひとりの
- 家庭・学校・地域の「しあわせ」のために

「誰ひとり取り残さない教育」をめざします

「えびなっこしあわせプラン」の推進

- 授業改善の実践
- 教育支援体制の充実
- みんなで取組む学校づくりの推進

こどもと大人がともに学ぶ機会の充実

- こども・学校支援事業の実践
- 若者の活躍と市民活動への参加促進
- 社会教育計画の再構築
- 特色ある図書館運営の推進
- 文化財の保護と積極的な活用

新たな学校施設への取組と子育て環境の充実

- 積極的な学校再編計画の推進
- 健康・安全安心のための環境整備
- 魅力ある学校給食の実現
- 保護者負担経費軽減策の充実
- 放課後児童クラブの充実

包摂性の高い教育的・社会的支援の推進

- フルインクルーシブ教育の推進
- 不登校支援体制の充実
- スクールライフサポートの充実
- ライフ・スタディサポートの推進

海老名市教育大綱

目標

「しあわせをはぐくむ教育」のまち海老名

基本的な考え方

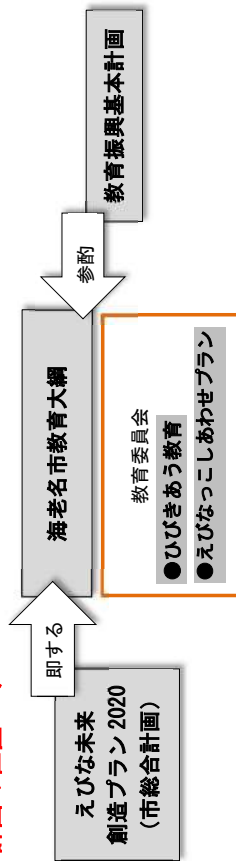
わたしたちは「ひびきあう教育」の理念のもとに

- こどもたちひとりひとりの
- 家庭・学校・地域の「しあわせをめざします

計画期間

4年間（令和5年4月から令和9年3月まで）

計画の位置づけ



教育施策の5つの柱

- 1 新たな学校の枠組みづくりの推進
- 2 包摂性の高い教育的・社会的支援の推進
- 3 「えびなっこしあわせプラン」の推進
- 4 こどもと大人がともに学ぶ機会の充実
- 5 新たな学校施設への取組と子育て環境の充実

家庭・学校・地域・行政の力を結集

家庭・学校・地域・行政の力を結集

事業概要

1 新たな学校の枠組みづくりの推進

① 学校経営の在り方と主体的な予算編成の検討 …【教育支援課】

学校教育目標を軸に、地域に根差した特色ある学校づくりを目指し、海老名のこどもの豊かな「学び」と「育ち」を保障するために、各校の校長の裁量権を拡大し、効果的な学校予算編成を行うとともに、持続可能な枠組みの在り方を研究します。

② 学校のD×X化の促進 …【就学支援課・教育支援課】

校務のIT化をさらに進めるとともに、こどもひとりひとりに合った教育や指導を行うために、学校教育活動のあらゆる場面で1人1台端末の活用を進めます。授業ではデジタル教材やMEXBTを使い、個人に合わせた学習や協働的な学びに活用します。また、保護者へのメールサービス「SumaMachi」を活用し、学校の様々な連絡事項や不審者情報などを即時提供します。

③ 「幼保小の架け橋プログラム」の実践 …【教育支援課】

小学校、幼稚園、保育園等が連携し、架け橋期（5歳児から小学校1年生の2年間）のひとりひとりの多様性に配慮した上で全てのこどもにも学びや生活の基礎を育むことを目指し、スタートカリキュラムを全小学校で研究・推進していきます。

④ 新たな部活動の在り方への移行 …【教育支援課】

持続可能な部活動のあり方と生徒の部活動の充実の観点から、学校や地域の実態に応じて、各団体・保護者・民間事業者等の協力のもと、学校と地域が協働・融合した形での地域における部活動環境整備を進めます。

2 包摂性の高い教育的・社会的支援の推進

① フルインクルーシブ教育の推進 …【教育支援課】

個別の教育支援計画の作成等を通じた教育的ニーズの適切な把握をもとに、すべてのこどもたちひとりひとりの多様性に対応した、学びやすい環境、わかりやすい授業、安全で安心できる居場所を目指します。

② 不登校支援体制の充実 …【教育支援課】

スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの活用推進や、校内別室支援体制の充実等による不登校の未然防止を図ります。また、不登校のこどもたちが安心して過ごすことができる多様な学びの場の拡充を官民協働で進めていきます。

③ スクールライフサポートの充実 …【就学支援課】

経済的な理由で就学困難な家庭に対し、学用品費や給食費、校外活動費、修学旅行費など、学校生活に必要な費用の一部を援助し、保護者の経済的負担の軽減を図ります。

④ ライフ・スタディサポートの推進 …【学び支援課】

生活困窮世帯に属する中学生に対し、学習支援や生活支援、進学に関する支援を実施することで、こどもの高等学校等への進学や社会的自立を促し、貧困の連鎖を防止します。

※包摂性の高い教育とは…こどもたちひとりひとりが、その個性や能力に応じた教育を受ける機会を与えられていること。

3 「えびなっこしあわせプラン」の推進

① 授業改善の実践 …【教育支援課】

「主体的・対話的で深い学び」を追求するために、市内教員がその視点からの学習過程を見直し、小中接続の観点からも、ともに授業を工夫・改善していく取組を推進します。また、個別最適な学びと協働的な学びを実現するために、1人1台端末の各教科等の指導における効果的な活用方法等について研究します。

② 教育支援体制の充実 …【教育支援課】

すべてのこどもを対象とした教育支援体制の構築についての研究・協議を進めてまいります。また、個別的教育支援計画シートの有効活用、不登校のこどもたちへの多様な学習支援、いじめ問題への具体的な対応策の拡充等について研究してまいります。

③ みんなで取組む学校づくりの推進 …【教育支援課】

「特色ある教育活動」実践に向けたカリキュラムマネジメントを展開できるようにするため、「教育課程編成」「地域との連携協働」等について研究し、具体的な取組みにつなげてまいります。

4 こどもと大人がともに学ぶ機会の充実

① こども・学校支援事業の実践 …【学び支援課】

えびなっ子スクールやあそびっ子クラブ等の実施を通して、学校と地域の連携を図り、地域ぐるみでこどもたちのしあわせを育みます。また、学校応援団が地域の力を引き出すことで、こどもたちと地域が共に成長できる社会を目指します。

② 若者の活躍と市民活動への参加促進 …【学び支援課】

次世代の担い手である中・高校生や大学生を中心に自分たちがやりたいこと、住みたいまちの実現に向けた探究活動の場の提供や、地域及び学校の事業に次世代のメンバーとして関わりを持つことで、若者の活躍と市民活動への参加促進を目指します。

③ 社会教育計画の再構築 …【学び支援課】

社会教育関係団体の連携や地域での社会教育活動の充実、学習機会の充実を図ることにより、地域の大人がこどもたちへの関わりを通してより強いつながりをもち、こどもと大人がともに育つ社会の構築を目指します。

④ 特色ある図書館運営の推進 …【学び支援課】

中央図書館は「新しい学びが見つかる空間」として、有馬図書館及び門沢図書館コミュニティセンターは「学びとコミュニティの空間」として、それぞれの立地条件や地域の特性を生かした運営を行うことで、様々な人々が集う知の拠点を目指します。

⑤ 文化財の保護と積極的な活用 …【教育総務課】

市内に存する文化財のうち重要なものについて、市指定重要文化財や市登録文化財として保存を進め、次世代に引き継ぎます。また、国史跡熊鷹国分寺跡・尼寺跡の公有地化を行い、保存活用を進めます。歴史資料等のデジタル化や「相模国分寺跡あそびのひろば」の開催など、積極的に文化財を活用し、市内外に海老名の歴史文化財を伝えます。

5 新たな学校施設への取組と子育て環境の充実

① 積極的な学校再編計画の推進 …【教育総務課】

「持続可能」でこどもたちにとって「夢」のある学校の実現に向けた施設整備を進めるため、児童生徒の人口推計を的確にとらえながら、新築、統合及び一貫化を含めた積極的な学校再編の方向性を、海老名市学校施設再整備計画の見直しにあわせて、再整備計画に反映します。

② 健康・安全安心のための環境整備 …【教育総務課・就学支援課】

老朽化した樹木の伐採及び剪定、校舎及び屋内運動場のLED化、庁内他課との連携による健康管理データの活用、青色パトロール車による巡回パトロール等を通して、こどもがいきいきと学べる学習環境・のびのびと生活できる生活環境を整備します。

③ 魅力ある学校給食の実現 …【就学支援課】

学校給食献立コンテストの優秀作品の献立化等、こどもたちが食べたいと思う、魅力的かつ安全安心な給食の提供に努め、海老名のこどもたちひとりひとりの「おいしい笑顔」の実現を目指します。

④ 保護者負担経費軽減策の充実 …【就学支援課、教育支援課】

使用頻度の低い彫刻刀や柔道着の購入費や小中学校全学年の教材費の公費負担、中学校ジャージのコンベンション等を行うなど、「海老名市保護者負担経費の在り方についての方針」に基づく、保護者負担経費の更なる適正化を図ります。

⑤ 放課後児童クラブの充実 …【学び支援課】

児童育クラブの「質」及び「定員」の充実を図ること、こどもたちに安全に放課後を過ごすことができる場を提供し、保護者が安心してこどもをあずけることができる環境を整備します。



(4) えびなっこしあわせプラン

ア 概要

海老名のこどもたちが、今、学校で生き生きと学習・生活するために、将来、自己実現を果たし、社会の一員として「しあわせ」に生きることをめざして、家庭・学校・地域・行政が力を合わせて取り組む教育計画です。

なお、第4期では、「包摂性」をキーワードに、これまでの学校教育活動や学校の在り方、教育行政の取組を見直し、その改善を図り、海老名のこども一人ひとりの学びと生活を保障します。

イ 計画期間

3年間（第4期 令和6年度から令和8年度まで）

ウ 所管課

教育支援課

エ 内容

次ページ以降に掲載しています。

えびなっこしあわせプラン推進委員会

第4期『えびなっこしあわせプラン』全体の検討・協議を実施します。

《 構成メンバー 》

校長代表2名 総括教諭・教諭4名 保護者代表1名

《 スーパーバイザー 》

小林 宏己 先生 ※第1期から助言を頂いています

その他、今日的な課題の対応へ

『海老名市立学校における保護者負担経費のあり方検討委員会』、

『外国語教育推進協議会』、『学校 ICT 活用推進委員会』、

『架け橋プログラム推進委員会』、『部活動推進協議会』、

『海老名市フルインクルーシブ教育推進委員会』を設置。

「えびなっこ しあわせプラン」 の歩み

第1期の取組から、次の3点を重点として
取り組んでいます。

- ①授業改善
- ②新たな教育課程の編成
- ③IT・貢献賞、コミュニティ・スクールの推進

第2期
(H30～R2 年度)

6点の重点項目に取り組めました。

- ①学力の向上
- ②集団力の育成
- ③健康安全力の育成
- ④教育課程の検討
- ⑤小中一貫教育の推進
- ⑥コミュニティ・スクールの導入

第1期
(H26～29 年度)

キーワードは、『多様性』。
第1期、第2期の取組を継続し、
次の3点を重点に取り組めました。

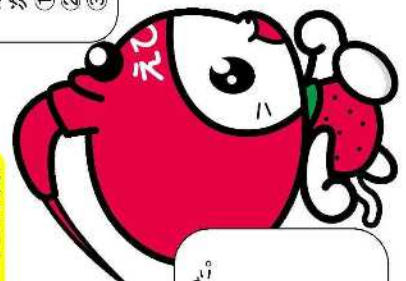
- ①授業改善の実践
- ②教育支援体制の充実
- ③特色ある学校づくりの推進

第3期
(R3～R5 年度)

キーワードは、『包摂性』。
今までの取組を継続しつつ、第4期では
「①授業改善の実践」
「②教育支援体制の充実」
「③みんなで取り組む学校づくりの推進」
を重点に取り組めます。

第4期
(R6～R8 年度)

えびなっこの今と将来の
しあわせのために
みんなで歩みます



第4期

『えびなっこしあわせプラン』 海老名市教育委員会 教育ビジョン



「えびなっこしあわせプラン」は、海老名のこどもたちひとりひとりが、今と将来にわたって、自己実現を果たし、社会の一員として自分の力を発揮して、「しあわせ」に生きることをめざして、家庭・地域・学校・行政が力を合わせて取り組む教育計画です。

平成26年度から取組をはじめ、今回で、第4期目となり、令和6年度から令和8年度の3年間の取組となります。

「第4期えびなっこしあわせプラン」では、

◇授業改善の実践

◇教育支援体制の充実

◇みんなで取り組む学校づくりの推進

を3本の柱として、重点的に取り組めます。

そして、「包摂性」をキーワードに、これまでの学校教育活動や学校の在り方、教育行政の取組を見直し、その改善を図り、海老名のすべてのこどもひとりひとりの学びと生活を保障します。

『誰ひとり取り残さない教育』の
実現をめざします。

◎「えびなっこ支援シート」の活用及び支援の充実
○学びの保障のために、「支援計画」を作成し、生活・学習支援を実施します

- ◎学校の包摂性を高めるための支援環境の整備と支援活動を充実します
- 人員の確保とスペースの整備
- 支援学校、教育関連機関、民間団体等との連携推進
- ◎学校支援チームの再構築を実施します

えびなこ支援シートの活用

このシートは、市のHPで見る事ができます。

◎『主体的・対話的で深い学び』を追求します
○「よりよい授業づくり」学校訪問・公開授業
研究」の実施

- ◎◎子どもたちが**主体的に学習に取り組む**ために、よ
りよい学習計画の在り方についての研究に取り組
みます
- ◎◎「**協働的な学び**」の実践を重点として、授業改善
の研究に取り組むとともに、「**個別最適な学び**」
の実践も積み重ねます
- ◎◎**教職員が主体的に学ぶ研修**の場の充実を図ります



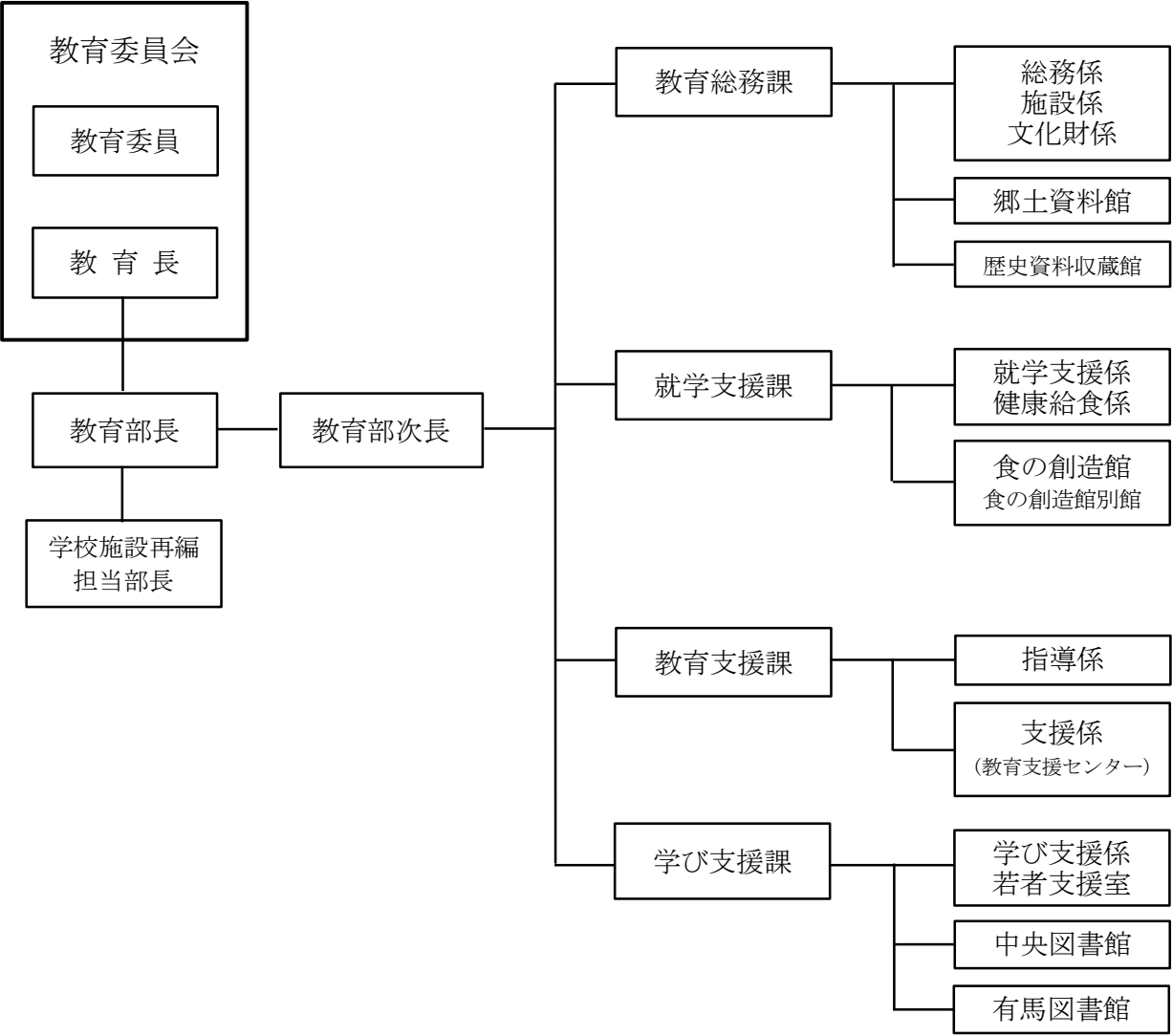
学校づくりの推進

- ◎各校の「みんなで取り組む学校づくり」の実践
- こども、教職員、保護者、地域、市民と連携・協働した学校運営
- ◎コミュニティ・スクールの推進
- 学校運営協議会の充実
- ◎学校予算の主体的な執行のための見直し・改善
- 学校予算の運用における協議・研究・改善

21

4 組織図

(令和8年4月1日時点)



小学校（13校）	
1	海老名小学校
2	柏ヶ谷小学校
3	有鹿小学校
4	有馬小学校
5	大谷小学校
6	上星小学校
7	中新田小学校
8	門沢橋小学校
9	東柏ヶ谷小学校
10	社家小学校
11	杉久保小学校
12	今泉小学校
13	杉本小学校

中学校（6校）	
1	海老名中学校
2	有馬中学校
3	海西中学校
4	柏ヶ谷中学校
5	大谷中学校
6	今泉中学校

5 事務分掌

(令和8年4月1日時点)

教育総務課	総務係	(1) 教育委員会の会議に関すること。 (2) 儀式、表彰及び渉外に関すること。 (3) 教育行政の企画調整及び相談に関すること。 (4) 規則等の公布に関すること。 (5) 事務局、学校その他の教育機関の職員(教職員を除く。)の人事に関すること。 (6) 公印の管理に関すること。 (7) 部の庶務及び調整に関すること。 (8) 部内の事務分掌の調整に関すること。 (9) 教育大綱の策定及び総合教育会議に関すること。
	施設係	(1) 教育施設の設置に関すること。 (2) 教育財産の管理に関すること。 (3) 学校施設の開放事業に関すること。
	文化財係	(1) 文化財の保存及び活用に関すること。 (2) 史跡地の整備及び管理に関すること。 (3) 郷土資料館に関すること。 (4) 郷土芸能及び郷土資料に関すること。 (5) 市史編さんに関すること。 (6) 市史資料の調査及び収集に関すること。 (7) 歴史資料収蔵館に関すること。
就学支援課	就学支援係	(1) 教職員の任免その他人事に関すること。 (2) 教職員の栄典に関すること。 (3) 児童生徒の就学、入学、転学及び退学に関すること。 (4) 学校の組織編成に関すること。 (5) 児童生徒及び教職員の安全管理に関すること。 (6) 就学援助に関すること。 (7) 教職員の業務量管理、健康管理及び福利厚生に関すること。 (8) 小中学校との連絡に関すること。 (9) 奨学金に関すること。
	健康給食係	(1) 児童生徒の健康管理に関すること。 (2) 学校給食の運営、管理に関すること。 (3) 食の創造館に関すること。 (4) 学校給食費の賦課及び徴収、収納管理、督促等に関すること。 (5) 保健・安全・食育の指導に関すること。

教育支援課	指導係	(1) 教科、道徳、特別活動及び総合的な学習の時間等の指導助言に関すること。 (2) 教科用図書その他教材及び教具の指導に関すること。 (3) 教育資料の整備及び活用に関すること。 (4) 教職員の研修に関すること。 (5) 人権教育に関すること。 (6) 学校 I C T の指導に関すること。 (7) 教育の調査、研究に関すること。 (8) 学校運営協議会に関すること。 (9) その他の学校教育に関する専門的事項の指導に関すること。
	支援係	(1) フルインクルーシブ教育(全ての児童生徒が、小中学校においてともに学べる環境の実現を目指す取組であって、児童生徒指導、特別支援教育、不登校支援等をいう。)に関すること。 (2) 教育支援センターに関すること。
学び支援課	学び支援係	(1) 社会教育委員の会議に関すること。 (2) 社会教育に関すること。 (3) 社会教育関係団体(体育関係を除く。)の指導助言に関すること。 (4) 放課後児童健全育成に関すること。 (5) 図書館に関すること。 (6) 生活困窮者世帯の子どもに対する学習支援に関すること。
	若者支援室	(1) 若者相談に関すること。 (2) 社会教育講座に関すること。 (3) 成人式に関すること。

6 職員数

(令和8年4月1日現在)

		教育部			
		教育総務課	就学支援課	教育支援課	学び支援課
教 育 長	1				
部 長	1				
担当部長	1				
次 長	1				
専任参事	1				
参 事	4				
課 長	-	(1)	(1)	(1)	1
担当課長・所長	-	(1)		(1)	
課長補佐					1
主 幹	-		1	6	1
係長・室長	-	2(1)	2	1(1)	1(1)
副 主 幹	-		2	5	
主 査	-	3	1	1	1
主任主事	-	3	3	2	
主 事	-	3<1>	2	1	2
主 事 補	-	3		1	3
指導主事	-		(3)	(11)	(1)
社会教育主事	-				(1)
用務員(正職・再任用)	-	4<2>			
管理栄養士			1		
会計年度任用職員		39	81	251	11

※()内は兼務者、< >内は再任用職員で、いずれも内数

※会計年度任用職員の区分は以下のとおり（学校配置含）

一般事務員、事務専門員（一）、用務員、社会教育指導員、栄養士、業務員（通学路巡回パトロール員、学校安全監視員、通学路立哨員）、非常勤講師、部活動指導員、教育専門指導員、教育支援センター指導員、教育支援センター主任指導員、教育支援センター専門補導員、教育支援センター相談員、教育支援センター主任相談員、言語聴覚士、補助指導員、インクルーシブサポートスタッフ（旧介助員）、看護スタッフ（旧看護介助員）、日本語指導学級講師、社会教育支援指導員



第2章 教育財政

1 教育費の推移

(1) 一般会計と教育費の推移

年度	当初予算額			決算額			
	一般会計 (千円)	教育費 (千円)	構成比 (%)	一般会計 (千円)	教育費 (千円)	構成比 (%)	増減率 (%)
R 5	48,567,000	6,208,649	12.78	56,521,977	7,093,892	12.55	33.44
R 6	50,891,000	5,580,721	10.97	55,628,034	6,164,269	11.08	△13.10
R 7	59,329,000	6,160,181	10.38	61,573,111	8,042,181	13.06	30.46
R 8	61,711,000	8,408,256	13.62	—	—	—	—

※決算額は支出済額を抽出

単位未満は四捨五入

増減率は前年度教育費との比較

(2) 項別歳出決算額の推移

項	令和5年度		令和6年度		令和7年度	
	決算額 (千円)	構成比 (%)	決算額 (千円)	構成比 (%)	決算額 (千円)	構成比 (%)
教育総務費	2,490,838	46.85	2,653,372	43.04	2,904,871	36.12
小学校費	652,045	12.27	1,147,069	18.61	1,734,704	21.49
中学校費	341,794	6.43	456,458	7.40	1,188,541	14.77
社会教育費	1,139,836	21.44	1,305,702	21.18	1,477,446	18.30
保健体育費	691,669	13.01	601,668	9.76	736,619	9.15
合 計	5,316,182	100.00	6,164,269	100.00	8,042,181	100.00

※決算額は支出済額を抽出

単位未満は四捨五入

構成比の合計が100%にならない場合があります。

2 令和8年度歳出当初予算（項目別）

項目	令和8年度		令和7年度		増減額 (千円)	増減率 (%)
	予算額 (千円)	構成比 (%)	予算額 (千円)	構成比 (%)		
1 教育総務費	3,127,120	37.19	2,949,679	47.88	177,441	6.02
1 教育委員会費	5,987	0.07	6,293	0.10	△306	△4.86
2 事務局費	1,565,540	18.62	1,440,924	23.39	124,616	8.65
3 学校給食費	1,463,020	17.40	1,423,696	23.11	39,324	2.76
4 教育支援センター費	92,573	1.10	78,766	1.28	13,807	17.53
2 小学校費	1,712,350	20.37	754,944	12.26	957,406	126.82
1 学校管理費	1,544,880	18.37	558,119	9.06	986,761	176.80
2 教育振興費	167,470	1.99	196,825	3.20	△29,355	△14.91
3 中学校費	842,377	10.02	449,280	7.29	393,097	87.49
1 学校管理費	729,608	8.68	336,095	5.46	393,513	117.08
2 教育振興費	112,769	1.34	113,185	1.84	△416	△0.37
4 社会教育費	1,544,700	18.37	1,453,820	23.60	90,880	6.25
1 社会教育総務費	1,038,700	12.35	923,038	14.98	115,662	12.53
2 文化財保護費	62,817	0.75	51,620	0.84	11,197	21.69
3 図書館費	443,183	5.27	479,162	7.78	△35,979	△7.51
5 保健体育費	1,181,709	14.05	552,458	8.97	629,251	113.90
1 保健体育総務費	110,229	1.31	107,537	1.75	2,692	2.50
2 体育施設費	1,071,480	12.74	444,921	7.22	626,559	140.82
教育費 計	8,408,256	100.00	6,160,181	100.00	2,248,075	36.49

※単位未満は四捨五入

構成比の合計が100%にならない場合があります。



第3章 学校教育

1 学校施設

(1) 学校施設一覧

(令和8年4月1日時点)

ア 小学校13校

学校名	住 所	電 話 F A X (046)	校地 面積 (㎡)	建 物 (㎡)					
				校 舎			屋内運動場		
				構造		計	構造		計
				鉄筋	鉄骨		鉄筋	鉄骨	
えびな 海老名	〒243-0405 国分南3-12-3	231-2019 231-3564	17,484	6,371	127	6,498	710		710
かしわがや 柏ヶ谷	〒243-0402 柏ヶ谷2-6-1	231-1630 231-1715	14,360	4,764	186	4,950		803	803
あるか 有 鹿	〒243-0433 河原口3-13-1	231-2159 231-2147	13,121	3,305	1,419	4,724		716	716
ありま 有 馬	〒243-0416 中河内1784	238-2010 238-1733	15,016	4,220	182	4,402	944		944
おおや 大 谷	〒243-0413 国分寺台 2-13-1	231-7370 231-2130	16,436	5,296	166	5,462		720	720
じょうせい 上 星	〒243-0431 上今泉1-23-1	232-3755 232-3277	23,163	5,250	510	5,760		739	739
なかしんでん 中新田	〒243-0422 中新田1-15-1	231-1452 231-3008	22,377	4,425	197	4,622		739	739
かどさわばし 門沢橋	〒243-0426 門沢橋1-19-1	238-0810 238-0335	15,738	3,799	192	3,991		739	739
ひがしかしわがや 東柏ヶ谷	〒243-0401 東柏ヶ谷 6-9-7	232-3716 232-3706	10,136	5,684	35	5,719	636		636
しゃけ 社 家	〒243-0424 社家5-10-1	238-1453 238-5247	16,839	3,637	233	3,870		700	700
すぎくぼ 杉久保	〒243-0410 杉久保北 4-4-1	238-4508 238-4512	26,931	5,370	125	5,495		733	733
いまいずみ 今 泉	〒243-0431 上今泉2028	232-2295 232-2256	21,820	6,210	2,925	9,135		739	739
すぎもと 杉 本	〒243-0406 国分北4-10-1	233-6451 233-6452	14,847	4,543	95	4,638		738	738

※学校プールは平成23年度に廃止しました。

※鉄筋…R C造。主に校舎本体 鉄骨…S造。主に渡り廊下や倉庫等

イ 中学校 6 校

学校名	住 所	電 話 F A X (046)	校地 面積 (㎡)	建 物 (㎡)					
				校 舎			屋内運動場		
				構造		計	構造		計
				鉄筋	鉄骨		鉄筋	鉄骨	
えびな 海老名	〒243-0405 国分南3-11-1	231-3410 231-7989	20,608	6,871	124	6,995		1,137	1,137
ありま 有馬	〒243-0417 本郷4601	238-3365 238-3469	19,381	6,132	195	6,327	943	15	958
かいせい 海西	〒243-0421 さつき町58	232-8103 232-2293	21,735	5,218	542	5,760		823	823
かしわがや 柏ヶ谷	〒243-0402 柏ヶ谷1-13-1	233-0917 233-0947	20,240	6,454	50	6,504		826	826
おおや 大谷	〒243-0418 大谷南2-10-1	233-3233 233-3583	21,575	5,691	119	5,810		818	818
いまいずみ 今泉	〒243-0431 上今泉1840	233-6341 233-6142	25,366	5,390	163	5,553		1,101	1,101

※学校プールは平成23年度に廃止しました。

※鉄筋…R C造。主に校舎本体 鉄骨…S造。主に渡り廊下や倉庫等

(2) 令和7年度に実施した主な学校施設工事

児童生徒が安全安心な学校生活を送ることができるよう、学校施設の整備や改修工事を実施しています。令和7年度に実施した主な工事は次のとおりです。

ア 屋内運動場大規模改修事業

小学校6校（有鹿小学校、東柏ヶ谷小学校、社家小学校、杉久保小学校、今泉小学校、杉本小学校）及び中学校3校（海西中学校、大谷中学校、今泉中学校）の屋内運動場に熱中症予防の観点から空調設備の設置及び断熱性能向上を図る改修工事を実施し、児童及び生徒の教育環境の向上及び建物の健全化を図りました。

イ 有馬中学校校舎外装改修工事

安全性を向上させるための外壁の落下対策及び雨漏れ等の解消を図るため、外壁と屋上防水を改修しました。

ウ 消防設備改修事業

有事の際でも児童及び生徒が安全に避難できるよう柏ヶ谷小学校及び海老名中学校の自動火災報知設備を改修し、予防保全を図りました。また、門沢橋小学校の避難器具（救助袋）及び海老名中学校の防火扉を改修しました。

エ 受変電設備改修事業

杉久保小学校、大谷中学校及び今泉中学校の受変電設備を改修し、ライフラインの予防保全を図りました。

2 児童生徒数・学級数

令和8年5月1日現在

学校名	学級数	児童数・生徒数（人）		
		総 数	男	女
海老名 小学校	31	765	416	349
柏ヶ谷 小学校	14	309	161	148
有 鹿 小学校	18	433	217	216
有 馬 小学校	14	300	158	142
大 谷 小学校	24	612	312	300
上 星 小学校	28	738	402	336
中新田 小学校	21	490	250	240
門沢橋 小学校	20	450	228	222
東柏ヶ谷小学校	15	378	191	187
社 家 小学校	17	432	221	211
杉久保 小学校	22	490	252	238
今 泉 小学校	43	1,238	633	605
杉 本 小学校	20	458	247	211
小学校計	287	7,093	3,688	3,405
海老名 中学校	18	494	257	237
有 馬 中学校	21	588	305	283
海 西 中学校	16	463	253	210
柏ヶ谷 中学校	20	610	296	314
大 谷 中学校	19	537	274	263
今 泉 中学校	24	667	337	330
中学校計	118	3,359	1,722	1,637
合 計	405	10,452	5,410	5,042

3 学校教育の方針

(令和8年4月1日時点)

(1) 教育理念「ひびきあう教育」

海老名市の21世紀の教育理念として、平成12年に策定しました。

学習指導要領(平成20年3月)による「『生きる力』を育む教育」に相当します。

①子どもと大人がひびきあう

学校生活・日常生活の中で子ども同士、子どもと大人、大人同士が「かかわり」を持ちふれあえるような場や環境を創り出していく。

②子どもと教師がひびきあう

- ・子どもたちの学習活動の中に人やものや自然とのかかわりが持てる活動を取り入れていく。
- ・知識や情報を交互に交換し合う場を積極的に取り入れていく。
- ・自分の考えを伝え、さらには新たな課題を仲間と共有する場を作っていく。

③学校・家庭・地域がひびきあう

保護者や地域の方々にも積極的に学校教育にかかわることを呼びかけ、共に学び育ちあう関係を築いていく。

④郷土とひびきあう

子どもたちが地域を理解し、子どもなりに地域に愛着を抱くように学習活動に地域の教材を取り入れ、地域の施設や地域の方々の協力を得て地域を身近に感じられるようにしていく。

(2) 教育施策「えびなっこしあわせプラン」

ア 前身

- (ア) 第1期「学び合い・思いやり・元気なえびなっ子プラン」
(平成22年～24年)
- (イ) 第2期「学び合い・思いやり・元気なえびなっ子プラン」
(平成25年～26年)

イ 第1期「えびなっ子しあわせプラン」(平成27年度～29年度)

海老名市の21世紀の教育理念「ひびきあう教育」のもと、子どもたちが学校で生き生きと学習・生活するとともに、将来、自己実現を果たして、社会の一員として「しあわせ」に生きるために必要な力を、義務教育期間の9年間で確実に身につけることをねらいとして、「えびなっ子しあわせプラン」を策定しました。

当プランは、子どもたちに必要な力を「学力」「集団力」「健康安全力」とし、それを身につけるための方策とともに、今後の海老名市立学校の在り方を「小中一貫教育」「海老名型コミュニティ・スクール」とし、その実現に向けて取り組む3年間の教育計画です。

また、このプランは、海老名市教育大綱～「しあわせをはぐくむ教育」のまち海老名～の3つの施策のうちのひとつであり、家庭・学校・地域・行政の力を結集して、子どもたちの今と将来の「しあわせ」のために取り組むものです。

(ア) 身につける3つの力

- ・「学力」の向上 …「授業改善の手引き作成委員会」の設置
- ・「集団力」の育成 …「いのちを守るための学習計画作成委員会」の設置
- ・「健康安全力」の育成…「人間関係づくり学習計画作成委員会」の設置

(イ) これからの学校の姿

- ・教育課程の検討
- ・「小中一貫教育」の推進…「小中一貫教育準備委員会」の設置
- ・「海老名型コミュニティ・スクール」の導入

ウ 第2期「えびなっ子しあわせプラン」(平成30年度～令和2年度)

えびなっ子の今と将来のしあわせのために、義務教育9年間で確実に「学力」「集団力」「健康安全力」を身につけることをめざします。

(ア) 授業改善

- ・「授業改善実践推進委員会」の設置
- ・「よりよい授業づくり学校訪問【特別版】」の実施

(イ) 新たな教育課程の編成

- ・「教育課程編成研究会」の設置

(ウ) 小中一貫教育 コミュニティ・スクールの推進

- ・「新たな学校体制づくり推進委員会」の設置

(エ) その他

- ・「外国語教育推進協議会」の設置
- ・「学校ICT活用推進委員会」の設置
- ・「部活動推進協議会」の設置

エ 第3期「えびなっ子しあわせプラン」(令和3年度～5年度)

海老名市の子どもたちひとりひとりの学びを保障するべく、「多様性」をキーワードに、3つの重点に取り組み、「多様な学びの場と指導・支援方法の実践」、そのための「多様な支援体制と学校体制のあり方の研究」を行います。

(ア) 授業改善の実践

- ・「授業改善実践推進委員会」の設置
- ・「学校ICT活用推進委員会」の設置

(イ) 教育支援体制の充実

- ・「教育支援体制づくり検討委員会」の設置
- ・「不登校支援団体連絡会」の設置

(ウ) 特色ある学校づくりの推進

- ・「特色ある学校づくり推進委員会」の設置

(エ) その他

- ・「部活動推進協議会」の設置

オ 第4期「えびなっこしあわせプラン」(令和6年度～8年度)

令和5年4月策定の「海老名市教育大綱」に示された『誰ひとり取り残さない教育』の実現を目指し、「包摂性」をキーワードに、これまでの学校教育活動や学校の在り方、教育行政の取組を見直し、その改善を図り、海老名のこども一人ひとりの学びと生活を保障します。次の3つを3本の柱として、重点的に取り組みます。

(ア) 授業改善の実践

- ・「授業改善実践推進委員会」の設置
- ・「外国語教育推進協議会」の設置
- ・「学校ICT活用推進委員会」の設置
- ・「架け橋プログラム推進委員会」の設置

(イ) 教育支援体制の充実

- ・「教育支援体制づくり推進委員会」の設置
- ・「海老名市フルインクルーシブ教育推進協議会」の設置

(ウ) みんなで取り組む学校づくりの推進

- ・「みんなで行く学校づくり推進委員会」の設置

4 学校紹介

(令和8年4月1日時点)

	学校名	校章	創立	校長	教頭	教職員(本務者)数 (4月1日時点)
1	海老名小学校		M42. 11. 1	檀浦 かおり	楠 祐子	37
2	柏ヶ谷小学校		S39. 4. 1	石井 友紀	高橋 一子	24
3	有鹿小学校		S31. 2. 11	坂野 千幸	土谷 政巳	23
4	有馬小学校		M25. 5. 5	住田 晶子	内山 大輔	24
5	大谷小学校		S44. 4. 1	古畑 恒	岩上 克成	27
6	上星小学校		S47. 4. 1	金 佳孝	三村 早織	38
7	中新田小学校		S47. 4. 1	打野 公一	別府 裕二	26

学校教育目標	めざす児童・生徒像 等
自ら考え行動し 心身ともにしなやかに 未来を創る えびなっ子	《自ら考え行動し未来を創る子》 主体的に取り組む子 《心しなやかに未来を創る子》 自分も相手も大切にできる子 《身体しなやかに未来を創る子》 目標に向かって何度でも挑戦する子
よく考え、学び合う子 豊かな心、思いやりのある子 健康でたくましい子	「みんな柏っ子」 か かしく し しなやかに わ わたしらしく が がっこうだいすき や やさしくえがおで
未来を拓く 心豊かなたくましい有馬の子 ～人と人との絆のなかで、共に学び合う小 中9年間～	多様な考えを受けとめ 自らの学びに生かせる子 心身共に健康で根気強く 一生懸命取り組む子 自分も相手も大切にし あたたく関わりあう子
夢をもって未来を切り拓く 調和のとれた子どもを育てる	自律した有馬の子 思いやりのある有馬の子 たくましい有馬の子
自立・夢を拓く人 ～豊かな心 深める学び 健やかな体 社会とのふれあい～	「追及する子」 生きて働く「知識・技能」を身につけ、失敗を恐れず挑戦する子 「創造する子」 思いや考えをもとに構想し、意味や価値を創り出す子 「協働する子」 人・もの・ことに関わり共に学ぶ子
確かな知恵と豊かな心そして丈夫な体を持 ち、たくましく生きる子どもを育てる	よく考え工夫する上星の子 思いやりをもつ上星の子 健康でたくましい上星の子
未来を拓く、心豊かな、たくましい中小の 子 ～人と人との絆のなかで、共に学び合う9 年間～	○未来を拓く子 「自ら学び、主体的に行動する子」 ○心豊かな子 「他の人も自分も大切にしながら関わる子」 ○たくましい子 「心身共に健やかに、粘り強く取り組む子」

	学校名	校章	創立	校長	教頭	教職員(本務者)数 (4月1日時点)
8	門沢橋小学校		S48. 4. 1	境 景子	中村 昌善	28
9	東柏ヶ谷小学校		S50. 4. 1	奥田 五成	関 恵紀	22
10	社家小学校		M25. 5. 5	尾崎 由美	大部 信介	22
11	杉久保小学校		S54. 4. 1	和田 波代	坂田 美帆	26
12	今泉小学校		S56. 4. 1	山田 圭	中島 忠相	57
13	杉本小学校		S57. 4. 1	奥泉 憲	前田 潤子	30

学校教育目標	めざす児童・生徒像 等
正しく 豊かに たくましく 誇らしく	よく学び よく考えて判断する子 自分も 友だちも 大切にする子 健康で 意欲がある たくましい子
「こころ」をひろげ、未来に生きる力を育む	学ぶ楽しさを味わい学び合う子 自他を認め、支え合う子 いきいきと活動に取り組み高め合う子
心身ともに健康で、心豊かな子の育成をめざす (1) 自ら学ぶ子 (2) 思いやりのある子 (3) 礼儀正しい子 (4) たくましい子	しんけんに考え学び合う子 やさしい心をもち助け合う子 けんこうで、ねばり強い子
自立・夢を拓く人 「豊かな心」「深める学び」 「健やかな体」「社会とのふれあい」	《今年度の重点目標》 自分で考え、判断、行動し、ともに伸びる杉の子の育成
かしこく やさしく たくましく	主体的に粘り強く学習に取り組む子 お互いを認め合いともに育つ子 心身ともにたくましく生きぬく子
明るく 素直に 礼儀正しく	明るく…健康な心身 自分の思いを豊かに表現する 素直に…学ぶ楽しさの実感 相手の気持ちを想って聴く 礼儀正しく…気持ちのよい挨拶 思いやりと感謝の気持ち

	学校名	校章	創立	校長	教頭	教職員(本務者)数 (4月1日時点)
14	海老名中学校		S22. 5. 5	梶山 博考	遠藤 章吾	27
15	有馬中学校		S22. 5. 5	浅井 大輔	山口 篤	25
16	海西中学校		S49. 4. 1	麻生 仁	山口 恭子	26
17	柏ヶ谷中学校		S51. 4. 1	小宮 洋子	森藤 岳彦	28
18	大谷中学校		S55. 4. 1	小林 丈記	大矢 貴史	27
19	今泉中学校		S59. 4. 1	久保谷 由美子	中川 木挙	29

学校教育目標	めざす児童・生徒像 等
自ら学び、考え、行動する心豊かなたくましい生徒の育成 ①豊かな心 ②深める学び ③健やかな体	≪実践の指針≫ (1)「豊かな心と思いやりの心を持つ」 (2)「秩序がある」 (3)「学力を伸ばし、深める」 (4)「健やかな体を作る」
一人ひとりが生涯にわたって豊かな人生を送るために、自ら学び、自己の人格を磨き、仲間と関わる中で心身を高め合う学校 ーたくましく しなやかな人にー	【社会の創り手となる生徒】 1、自立…自ら考え、正しく判断し、主体的に自己実現を目指す生徒 2、自律…自ら道を創り出し、自らの責任において継続的に行動できる生徒 3、協働…より良い人間関係を基に、協調し行動できる生徒 4、共生…自他の生命を尊重し、広い視野で行動できる生徒
未来を拓く、心豊かなたくましい海西の子の育成 ～ 人と人との絆の中で共に学び合う9年間 ～ (1) 豊かな心 (2) 深める学び (3) 健やかな体	≪実践の指針≫ (1)「豊かな心と思いやりの心を持つ」 (2)「秩序がある」 (3)「学力を伸ばし、深める」 (4)「健やかな体を作る」
未来を生き抜く生徒の育成 ～たくましく生きる 共に生きる 豊かに生きる～	(1) 主体的に考え、よりよく生きようとする生徒 (2) 協働的に活動し、豊かな人間関係を築こうとする生徒 (3) 多様性を尊重し、ひとりひとりの存在を大切に思う生徒
< 自立・夢を拓く人 > (1) 豊かな心 (2) 深める学び (3) 健やかな体 (4) 社会とのふれあい	≪実践の指針≫ (1) 「豊かな心」 (2) 「深める学び」 (3) 「健やかな体」 (4) 「社会とのふれあい」
地域とともに生き、たくましく、しなやかに未来を拓く生徒の育成 ～自ら学ぶ 自ら働く 自ら磨く～	【社会に貢献できる人】 1、自主…自ら考え、正しく判断し、主体的に行動できる生徒 2、自立(律)…自らの行動に責任を持ち、自己実現できる生徒 3、協働…よりよい人間関係を基に、協調し行動できる生徒 4、共生…自他の生命を尊重し、広い視野で行動できる生徒

5 教職員研修

(1) 研修会

市の施策や喫緊の課題に対応し、限られた機会において最大の効果が生まれるように、研修内容を工夫し実施しました。

【令和7年度 実施内容】

	研修名 日程・会場	対象者	講師	内容(概要)
1	すべての子の可能性を引き出す！ 個別最適・協働的な授業づくり 8月25日（月） 今泉小学校	全教職員	海老名市教育委員会 教育支援課 指導主事	○講義 「個別最適・協働的な授業とは」 ○演習 「個別最適・協働的な学びを取り入れた授業計画の作成」
2	あの教材、どう読む？～説明文の指導～ 8月21日（木） 今泉小学校	全教職員 （臨任・非常勤を含む）	山梨大学大学院 教授 茅野 政徳 氏	○講義 「説明文の授業づくり」
3	えびな地域講座 ～逆川の謎を追え～ 5月27日（火） 温故館・国分寺周辺	初任者教員のみ	海老名市教育委員会 教育支援課指導主事 教育専門指導員 笠原 祐治 海老名市郷土資料館 学芸員	○講義 「海老名市内の地理及び歴史について」 ○フィールドワーク 「逆川の謎を追え」
4	探究的な学びにつながる社会科の授業づくりについて学ぼう！ 7月31日（木） 今泉小学校	小学校教員 中学校社会科教員	大妻女子大学 家政学部 教授 澤井 陽介 氏	○講義 「探究的な学びにつながる社会科の授業づくりについて」
5	算数・数学の学びをつなげる ～「変化と関係」「関数」について～ 8月25日（月） 今泉小学校	小学校教員 中学校数学科教員 等	杉久保小学校 校長 坂野 千幸 海老名市教育委員会 教育支援課 指導主事 藤原 大佑	○講義・演習 「変化と関係」「関数」 「小学校算数における指導方法」 「中学校数学における指導方法」
6	これでバッチリ！生活科 7月25日（金） えびなこどもセンター会議室	小学校低学年担任 生活科の指導力を高めたい方	港区立赤羽小学校 主幹教諭 松村 英治 氏	○講義 ・生活科のカリキュラムマネジメント ・内容（3）「地域に関わる活動」の指導（実践事例等の紹介） ○演習 ・内容（3）「地域に関わる活動」の単元づくり・授業アイデアの共有
7	「生きる力」を育む音楽科の授業づくり ～こどもがいきいき考える音楽の時間～vol.2 7月24日（木） 中新田小学校音楽室	音楽指導に携わる小中学校教員等	桐蔭学園小学校 教諭 岩井 智宏 氏	○講義・演習 「生きる力を育む音楽科の授業」

	研修名 日程・会場	対象者	講師	内容(概要)
8	こどもの作品を変えよう！ 絵画指導のポイント～演習編～ 8月4日（月） 今泉小学校	小学校教員 中学校美術教員	八州学園大学 特任教授 佐々木 達行 氏	○講義・演習 「造形的なものの見方や考え方を育む、カウンセリングを活用した指導について」
9	やってみよう！ テニス型授業 テニピン！！ 7月24日（木） 中新田小学校体育館	全教職員	山梨学院短期大学 保育科 准教授 今井 茂樹 氏 一般財団法人 ノアテニス振興財団 中間 亮 氏 海老名市教育委員会 指導主事 重岡 慎一郎	○講義・実技 テニス型授業 テニピン ・種目、競技内容について ・ラケット作成 ・練習 ・ゲーム
10	Do you know ベースボール？ 10月9日（木） 大谷小学校体育館	全教職員	横浜DeNAベイスターズ マーケティング部 鈴木 由香 氏 スクールコーチ	○講義・演習 ・基本技能（打つ・捕る）の実践及び動画教材紹介 ・BTボール（簡易ゲーム）体験
11	必見！！小中合同外国語研修 ～指導と評価の一体化～ 8月25日（月） 海老名市役所401会議室	全教職員	元関西外国語大学 教授 中嶋 洋一 氏 元文部科学省初等中等教育局視学官 関西外国語大学教授 直山 木綿子 氏	○講演 「外国語における指導と評価の一体化」について ・小学校外国語教育について ・中学校外国語教育について
12	ちょっと見てみて、考えよう！ ～9年間で育む外国語の力～ 6月6日（金） 海老名小学校 7月16日（水） 門沢橋小学校 11月14日（金） 今泉小学校 2月4日（水） 有鹿小学校	小中学校外国語教育担当者 英語科教員等	元関西外国語大学 教授 中嶋 洋一 氏 海老名市教育委員会 指導主事 佐藤 英恵	○授業公開 ○協議会 ○指導・助言 ○講義
13	これからの「道徳」の話をしよう 7月31日（木） 今泉小学校	全教職員	日本道徳教育学会 神奈川支部理事 三ツ木 純子 氏	○講義 「考え、議論する道徳」 ○講義・演習 教材分析・本時の指導を考え、協議をする
14	探究ってなんだ？ ～こどもと一緒に作る総合の学び～ 7月22日（火） 今泉小学校	全教職員 （臨任・非常勤を含む）	相模原市教育委員会 教育センター 指導主事 荒木 昭人 氏	○講義・協議 「こどもの“やってみたい”をかなえる総合の単元づくり」

	研修名 日程・会場	対象者	講師	内容(概要)
15	インクルージョンとは何か ～対話を通じて考える学校づくり～ 8月21日(木) 今泉小学校	小中学校教職員	帝京大学教職大学院 教職研究科 荒巻 恵子 氏	○講話と対話 「インクルージョンとは何か？」 テーマや講話の内容に沿って、対話をしながら進めます。
16	一緒に学ぼう！共に語ろう！ ～特別支援学校の先生と～ 8月6日(水) 海老名市文化会館	教育支援コーディネーター 特別支援学級担任 通級指導教室担当者	独立行政法人 国立 特別支援総合研究所 特任研究員 青木 高光 氏 ほか	○講演会 「知的障害特別支援学校におけるICTの活用と今後の展望」 ○分科会代表校による研究発表・講義 神奈川県立瀬谷支援学校 神奈川県立鶴見支援学校 筑波大学附属久里浜特別支援学校 神奈川県立岩戸支援学校
17	教育セミナー 「不登校のこどもたちへの親や教師のかかわり方」 10月～12月 オンライン	市民 保護者 教育関係者 全教職員	埼玉県立大学 教授 東 宏行 氏	○不登校に関する講義
18	特別支援教育の実践と評価 7月22日(火) えびなこどもセンター201会議室	小・中学校教職員	海老名市教育委員会 教育支援課 指導主事 豊山 花林 中新田小学校 教諭 谷 賢一 有馬中学校 教諭 高尾 啓	○説明 「特別支援教育で大切にしたい視点」 ○通級指導教室の実践報告 ○特別支援学級の実践報告
19	Do you know びなる一む？ 8月21日(木) 教育支援センター	不登校児童生徒に関わる教職員	びなる一む 専任教員・主任指導員、指導員	○講義 ・びなる一むについて ・通室生の現状 ・学校との連携と今後と課題について ○演習
20	ようこそ、にほんのがっこうへ ～みんなで学ぶ日本語指導～ 8月25日(月) 海老名市役所401会議室	日本語指導を必要とする児童生徒を受け持つ教員	東京学芸大学 特任准教授 谷 啓子 氏	○講義・演習 「こどもの日本語支援と外部との連携」
21	引き出せ！スクールタクトの可能性 9月10日(水) えびなこどもセンター201会議室	スクールタクトをさらに活用したい小学校教員(中学校教員も可)	株式会社コードタクト	○講義・演習

	研修名 日程・会場	対象者	講師	内容(概要)
22	ICT活用を当たり前に ～Google Classroomの基礎を学ぼう～ 7月24日(木) 中新田小学校	Google Classroom 初心者	海老名市教育委員会 教育支援課 指導主事	○講義・演習 「Classroomの基礎基本」 ・クラスの作成、参加 ・ストリームの活用 ・課題配布、返却
23	授業実践から考える、ICT活 用の幅を広げよう 2月6日(金) オンライン	全教職員 (実践事例を 知りたい方)	海老名市教育委員会 教育支援課 指導主事	・授業実践 ・ディスカッション
24	幼保小でともに学ぼう ～架け橋期の教育～VOL. 3 7月31日(木) 海老名市役所401会議室	管理職・コー ディネーター・小学校低 学年担任教員	日本生活科・総合的 学習教育学会 顧問 吉田 豊香 氏	○講義・演習 「架け橋期の教育について」
25	園を見に行こう！ ～百聞は一見に如かず～ ①7月22日(火) 上河内保育園 ②8月1日(金) さくらい幼稚園	管理職・コー ディネーター・小学校教 員等	上河内保育園 園長 後藤 奈津子 氏 さくらい幼稚園 園長 櫻井 喜宣 氏	・保育参観等 ・園長講話 ・給食 ・グループワーク
26	生命(いのち)の安全教育をやっ てみよう！ 9月10日(水) えびなこどもセンター301会議室	全教職員	星野 貴泰 氏	○講義 ・包括的性教育について ・生命(いのち)の安全教育について
27	教えてください、ヴィヒャルト先 生！ 保護者対応の正しい進め方！！ 8月4日(月) 今泉小学校	全教職員	南藤沢心理相談室 カウンセラー代表責 任者 ヴィヒャルト 千佳子 氏	○講義 「保護者対応の基礎基本について」 ○演習 「電話対応」「面談」
28	学級経営を考える上で大事なこ とを学んでみよう！ 10月9日(木) えびなこどもセンター201会議室	全教職員	横浜国立大学 教職大学院 准教授 藤原 寿幸 氏	○講義 「学級経営力を考える上で大事なこと」 ○グループ協議および全体共有
29	「調べる」ことを教えよう ～図書館活用～ 8月4日(月) 有馬図書館	全教職員	海老名市教育委員会 教育支援課 指導主事 図書館流通センター 学校図書館支援員	○講義・演習 「調べ学習のポイントと指導」
30	「考える」ことを教えよう ～シンキングツールとICTの利 活用～ 7月24日(木) オンライン	全教職員 (臨任・非常 勤を含む)	関西大学総合情報学 部 教授 黒上 晴夫 氏	○講義 「考える授業のためのシンキングツールと ICTの活用」

	研修名 日程・会場	対象者	講師	内容(概要)
31	指導と評価を一体化する ～学習評価の基礎&進め方～ 6月3日(火) えびなこどもセンター201会議室	全教員 (特に若手教員・若手教員を指導する立場の教員)	海老名市教育委員会 教育支援課 指導主事	○講義 「学習評価の考え方」 ○演習 「指導計画と評価計画をつくってみよう」 ○講義・演習 「こどもの頑張りを見取り、伝えるために」
32	みんなでつくろう！始まりの1週間！！ ～新採用教職員希望研修会～ 3月26日(木) えびなこどもセンター201会議室	令和8年度新採用教職員及び希望者	教育支援課・就学支援課職員	○講義 「学級づくりのあり方」 ○説明 ・教職員としての服務について ・情報セキュリティについて ・社会人としてのマナーや礼儀について
33	中学校卒業後の進学先・進路指導を知ろう 7月22日(火) 今泉小学校	小・中学校教員	海老名市教育委員会 教育支援課 指導主事 高等学校等関係者	○講義 「中学校の進路指導について」 ・進路先の校種や入試方法など ○講義 「高等学校等での学校生活」 ・高等学校での支援について ・学校生活について ・学習と卒業後の進路について

(2) 担当者会議

	会議名 日程・会場	対象者	内容(概要)
1	地域連携・小中一貫教育担当者会議 ①6月10日(火) えびなこどもセンター健診室 ②2月19日(木) えびなこどもセンター健診室	地域連携・小中一貫教育担当者	<講師> 横浜国立大学教育学部 教授 青山 浩之 氏 <講義> 「地域とともにつくるこどもの学び」 「地域とともにつくるこどもの学び～はじめての一步」 を受講後、協議、情報交換等
2	外国語教育担当者会議 ①4月10日(木) えびなこどもセンター201会議室 ②2月25日(水) オンライン	外国語教育担当者	・令和7年度の外国語教育の取組について ・ALTの紹介 ・派遣契約について ・ALTの配置計画について ・ALTとの情報交換 ・令和8年度の外国語教育の取組について
3	図書館教育担当者会議 4月22日(火) えびなこどもセンター201会議室	図書館教育担当者	・海老名市第四次子ども読書活動推進計画の学校での取組について ・学校図書館を活用した読書活動・学習活動の充実に向けて ・図書支援員との連携について ・事務連絡 (図書購入・廃棄・学校図書支援員との連携・団体貸出について等)

4	健康教育担当者会議 5月8日（木） オンライン	保健担当者・養護教諭	学校保健の推進について (喫煙防止、生命の安全、性、くすり等) ・年間計画と振り返りについて ・食物アレルギー等の管理について
5	給食・食育担当者会議 ①5月28日（水） えびなこどもセンター201会議室 ②11月11日（火） えびなこどもセンター201会議室	給食担当者・食育担当者・栄養士（栄養教諭）	・給食・食育の推進について ・「食に関する年間指導計画」について ・給食事務の手続き方法等について ・給食・食育を取り巻く現状について ・給食献立について
6	防災安全教育担当者会議 5月9日（金） オンライン	安全指導担当者	・「学校安全年間計画」と「危機管理マニュアル」の作成と振り返りについて ・防災教育のテキストについて
7	I C T教育担当者会議 ①5月13日（火） オンライン ②9月2日（火） オンライン	I C T教育担当者	・海老名市I C T教育計画について ・各種様式の確認 ・本年度の機器更新について ・各種情報提供
8	情報セキュリティ担当者会議 5月26日（月） オンライン	校長 及び 情報教育（セキュリティ）担当者	・講義「情報セキュリティについて」 ・協議「自校の情報セキュリティ意識を高めるために」
9	人権教育担当者会議 5月12日（月） えびなこどもセンター201会議室	人権教育担当者	・「国、県、市の人権教育方針について」 ・「人権学習ワークショップをやってみよう」 ・「各校の計画について」 ・「令和7年度人権教育研修会の参加割り当てについて」
10	国際教育担当者会議 ①4月28日（月） えびなこどもセンター201会議室 ②9月9日（火） えびなこどもセンター201会議室	国際教育担当者 日本語指導講師（希望者）	・国際教育担当者の役割 ・個別の指導計画の作成の仕方 ・情報交換
11	児童・生徒指導担当者会議 4月16日（水） えびなこどもセンター201会議室	児童・生徒指導担当者	・児童・生徒指導の重点課題について ・児童・生徒指導体制について ・ヤングケアラー・虐待について
12	児童指導担当者会議 ①6月18日（水） 教育支援センター学習室 ②10月22日（水） 教育支援センター学習室 ③2月18日（水） 教育支援センター学習室	児童指導担当者	・各学校の今年度の計画について ・「児童指導上に関する情報交換」 ・グループ協議・発表

	会議名 日程・会場	対象者	内容(概要)
13	教科書事務担当者会議 ① 4月10日 (木) えびなこどもセンター301会議室 ② 7月3日 (木) えびなこどもセンター201会議室 ③ 1月26日 (月) えびなこどもセンター201会議室 ④ 3月26日 (木) えびなこどもセンター201会議室	教科書給与事務担当者	・教科書制度について ・教科書給与事務について ・教科書事務について
14	キャリア教育担当者会議 5月14日(水) えびなこどもセンター会議室	キャリア教育担当者	・キャリア教育の意義 ・キャリア教育について ・キャリアパスポートについて ・情報交換

(3) 連絡会

	会議名 日程・会場	対象者	内容(概要)
1	教育支援CO・SC・SSW連絡会 ① 4月24日 (木) ② 10月23日 (木) ③ 2月26日 (木) えびなこどもセンター201会議室	教育支援コーディネーター・小中スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー	・情報提供 ・中学校区毎の情報交換等(分散会)

(4) 協議会

	会議名 日程・会場	対象者	内容(概要)
1	現職教育運営協議会 ① 4月15日 (火) 書面開催 ② 11月18日 (火) ③ 2月18日 (水) えびなこどもセンター201会議室	校長会代表2名 研究会長2名 教頭会代表2名	・令和7年度の成果と課題の報告と令和8年度の方針について ・令和8年度研修計画について
2	幼稚園・保育所・小学校・中学校連絡協議会 中学校区毎に開催 ① 4月上旬～5月下旬 小学校 ② 7月下旬～8月下旬 小学校または中学校 ③ 1月下旬～2月下旬 幼稚園・保育所等	中学校区担当校長 小学校・中学校・幼稚園・保育所等・療育機関の担当者	・授業参観、保育参観 ・情報交換 (総合を中心とする生活や学びの接続・学校段階等間の交流や連携・支援における連携 等) ・協議(架け橋プログラム)

(5) ひびきあう教育

海老名市の21世紀の教育理念「ひびきあう教育」の推進に向けて、各学校の教育活動の充実を図るため、市内の小・中学校に教育実践研究を委託しています。その中から研究指定校を指定し、研究の一層の推進を図っています。

ア 校内研究

学校名	研究テーマ
海老名小学校	主体的に学ばえびなっ子の育成 ～国語科における子どもの姿を通して～
柏ヶ谷小学校	一人ひとりが学びをたのしむ授業 ～児童が考えたくなる発問と問い返し～
有馬小学校	自己の生き方についての考えを深め、歩む子を目指して ～関わりあい・語りあい・高めあい～
大谷小学校	粘り強くチャレンジし、 自分を豊かに表現する子を目指して ～対話を通して読む力を高める国語科の授業づくり～
中新田小学校	主体的に考え、共に学び合う児童の育成をめざして ～算数科における協働学習を通して～
門沢橋小学校	伝え合いから学ぶ楽しさに気づく子の育成
東柏ヶ谷小学校	学ぶよろこびをみんなで ～考えて 伝える, 伝え合って 深め 広げる～
社家小学校	「主体的に学ぶ」社家っ子をめざして ～子どもの考えを「引き出し深める場」の工夫を通して～
杉久保小学校	自分の考えをもち、認め合うことで考えを深められる杉の子を めざして～算数科の学習を通して～
今泉小学校	誰もが安心して主体的に学べるインクルーシブな学校づくりを めざして ～個別最適な学びと協働的な学びの一体化の充実に向けて～
杉本小学校	かかわり合いながら、主体的に学ぶ子どもの育成
有馬中学校	学校全体で取り組む、授業・行事における校内支援体制の構築
海西中学校	「主体的に学習に取り組む態度の評価方法」の研究 ～“粘り強さ”・“学習を調整する力”を見取るには?～
柏ヶ谷中学校	探究的な学びの充実を目指して ～生徒・教師ともに探究心を持ち続けられる取り組みの研究～
大谷中学校	社会にひらかれたカリキュラム・デザイン
今泉中学校	これからの社会を生き抜くためのLearningへ ～学びたくなる課題の工夫～

イ ひびきあう教育研究指定校

	学校名	研究テーマ
研究委託校	有鹿小学校	伝え合い、認め合い、学びを楽しめる子の育成 ～対話を通して、学びを深めよう～
	上星小学校	自ら考え、主体的に取り組むこどもの育成 ～書く活動の充実をめざして～
	海老名中学校	新しい時代に必要な資質・能力の育成と評価方法の在り方 を見直すⅡ ～生徒が学習内容を見通し、学び、振り返ることができる授業実践～

ウ ひびきあう教育研究発表大会

ひびきあう教育研究指定校は、研究内容の充実や市内での成果の共有化を図るためにも、ともに「ひびきあう教育」について考えるためにも、学校関係者や保護者、市民に研究の成果を公開しています。

日時	令和7年8月22日（金）	
会場	海老名市文化会館	
シンポジウム	【演題】 「探究と協同の学びのイノベーション ～21世紀型授業への改革～」 【講師】 東京大学 名誉教授 佐藤 学 氏	
	学校名	研究テーマ
令和6年度 研究委託校	有馬小学校	自己の生き方について考えを深め、歩む子を目指して ～関わりあい・語りあい・高めあい～
	今泉小学校	誰もが安心して主体的に学び、共に育つ学校づくりを目指して ～インクルーシブ教育の充実に向けて～
	今泉中学校	「これからの社会を生き抜くためのLearning へ」 ～「聴いて 考えて つなげる」（受信・思考・発信） ・学びたくなる課題の工夫～

(6) 訪問指導(よりよい授業づくり)

ア よりよい授業づくり〈訪問指導〉

「えびなっこしあわせプラン」の柱である「授業改善」をテーマに、授業を公開し、語り合うことで、よりよい授業づくりの一助とすることを目的としています。

学校名	日にち
門沢橋小学校	令和7年5月26日
有馬中学校	令和7年6月11日
海老名中学校	令和7年7月8日
杉本小学校	令和7年9月12日
有鹿小学校	令和7年10月27日
大谷小学校	令和8年1月29日

イ よりよい授業づくり〈公開授業研究〉

生活科・総合的な学習の時間の公開研究授業、参加者による協議会、講師による講義をとおして、今求められている授業「主体的・対話的で深い学び」について、教職員ひとりひとりが理解を深め、授業改善を図ることを目的としています。

学校名	日	講師	対象者
海西中学校	令和7年7月2日	文部科学省 初等中等教育局 教育課程課 教科調査官 国立教育政策研究所 教育課程研究センター 研究開発部 教育課程調査官 齋藤 博伸 氏	実施校教職員 及び 小中学校全教職員 (希望者)
柏ヶ谷中学校	令和7年10月10日		
海老名小学校	令和7年11月25日		

6 教育支援

(1) 学校 I C T ・プログラミング教育

情報化社会で必要とされる情報活用能力を身に付けた児童生徒を育成するために、学校 I C T の活用を行っています。また、プログラミング的思考により広がる可能性を追求し、未来で活躍するえびなっこの育成に努めています。

ア I C T 教育推進計画

(令和 8 年 4 月 1 日時点)

学校 I C T の環境整備とその活用について、令和 6 年度策定した海老名市学校 I C T 活用推進計画に基づいて、計画的に推進していきます。また、G I G A スクール構想で導入されたタブレット端末については、各教科での活用に加え、家庭への持ち帰りを実施し活用を推進していきます。

イ I C T 機器整備状況

(令和 8 年 4 月 1 日時点)

学校名	1 人 1 台端末		固定プロジェクター数	電子黒板台数
	iPad	Chromebook		
海老名小学校	958	4	26	4
柏ヶ谷小学校	409	2	15	3
有鹿小学校	535	3	18	3
有馬小学校	356	2	13	0
大谷小学校	683	3	21	0
上星小学校	831	4	24	0
中新田小学校	576	3	18	0
門沢橋小学校	505	3	19	0
東柏ヶ谷小学校	463	2	18	0
社家小学校	549	2	18	0
杉久保小学校	657	3	23	0
今泉小学校	1368	5	27	0
杉本小学校	594	3	20	0
海老名中学校	10	495	20	0
有馬中学校	10	588	19	0
海西中学校	10	462	17	0
柏ヶ谷中学校	10	613	22	0
大谷中学校	10	540	17	0
今泉中学校	10	664	20	0

ウ ICT関連研修状況

	研修名 日時・会場	講師	内容(概要)
1	情報セキュリティ担当者会 5月26日(月) オンライン開催	教育支援課	・情報セキュリティについて
2	ICT教育担当者会 5月13日(木) 9月2日(火) オンライン開催	教育支援課	・各種申請の流れについて ・トラブル報告について ・ICT機器管理について
3	情報セキュリティ研修 10月～11月 各勤務校	オンライン (eラーニング)	・情報セキュリティについて
4	校務支援システム選定委員会 4月30日(水) 5月21日(水) 7月14日(月) 9月5日(金) 12月17日(水) 3月3日(火)	教育支援課	・校務支援システムについて

エ 情報教育支援員派遣

海老名市内公立小中学校におけるパソコンおよびタブレット機器とICT機器全般の教職員のサポートを行うことを目的として、全校で6名の情報教育支援員を派遣しています。

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
派遣回数	570回 (各校30回)	361回 (各校19回)	309回 (各校15回以上で児童生徒数に応じた回数派遣)

オ プログラミング教育支援員派遣

海老名市内公立小学校のプログラミング授業のサポートを行うことを目的として、希望する学校に支援員を派遣しています。打ち合わせを行い、教材選びから指導案作りまで、授業の当日までサポートしています。

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
派遣校数	10校	11校	10校
派遣時間	333時間	330時間	330時間

※活動報告書作成時間含む。

(2) 外国語教育

ア 外国語教育実施計画

海老名市の児童生徒が、わがまち海老名で育ったことに自信と誇りを持ち、身近な人々はもちろん、世界の多種多様な人々との出会いを楽しみ、お互いを尊重しながら、協働して社会に参画していく姿を目指し、外国語教育を推進しています。

イ 教職員研修

(ア) 小学校英語専科担当教員による研究実践

指導体制において示した英語専科担当教員は、小学校の担任主導の授業づくりのための研究モデルとしての役割をもちます。専科担当教員による授業公開・協議会をとおして、市としての英語の授業の研究を進めていきます。

(イ) 外国語教育担当者会

国や県、市の方針を確認し、取組状況について情報交換を行うとともに、授業力向上と授業改善を図っています。

(ウ) 小学校外国語教育研修会

小学校における外国語活動及び外国語科の授業実践力を高めるとともに、具体的な評価方法についての共通理解を図ることが目的です。各校で研修動画を視聴する形で実施しています。

(エ) 外国語科・外国語活動年間時間数及びA L T派遣状況

- ・小学校（A L T派遣：10名）

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
時間数	10	10	35	35	70	70

- ・中学校（A L T派遣：3名）

	1年生	2年生	3年生
時間数	140	140	140

(3) 特別支援教育

ア 特別支援学級

本市では、市内小中学校全校に特別支援学級を設置しています。特別支援学級への入級については、児童生徒の障がいの状況や教育的ニーズについて海老名市教育支援委員会において審議を行い、海老名市教育委員会が決定しています。

近年、市内の特別支援学級在籍児童生徒数は増加傾向にあります。そのような中、すべての小中学校に設置している知的障がい学級、自閉症・情緒障がい学級に加え、児童生徒の教育的ニーズに応じた特別支援学級を設置し、一人ひとりに合わせた適切な指導及び必要な支援を行っています。

【特別支援学級在籍児童生徒数・職員数】（令和8年5月1日時点）

種別	学校名	児童生徒数	職員数
知的障がい	海老名小学校	8人	1人
	柏ヶ谷小学校	6人	1人
	有鹿小学校	5人	1人
	有馬小学校	2人	1人
	大谷小学校	4人	1人
	上星小学校	11人	2人
	中新田小学校	5人	1人
	門沢橋小学校	4人	1人
	東柏ヶ谷小学校	6人	1人
	社家小学校	10人	2人
	杉久保小学校	3人	1人
	今泉小学校	11人	2人
	杉本小学校	9人	2人
小 計		84人	17人
自閉症 情緒障がい	海老名小学校	22人	3人
	柏ヶ谷小学校	10人	2人
	有鹿小学校	15人	2人
	有馬小学校	13人	2人
	大谷小学校	20人	2人
	上星小学校	23人	3人
	中新田小学校	9人	2人
	門沢橋小学校	14人	2人
	東柏ヶ谷小学校	13人	2人
	社家小学校	5人	1人
	杉久保小学校	13人	2人
	今泉小学校	25人	4人
	杉本小学校	11人	2人
小 計		193人	29人
肢体不自由	海老名小学校	2人	1人
	有鹿小学校	1人	1人
	今泉小学校	1人	1人
小 計		4人	3人
病弱 身体虚弱	大谷小学校	2人	1人
	門沢橋小学校	1人	1人
	杉久保小学校	1人	1人
	杉本小学校	2人	1人
小 計		6人	4人
弱視	杉久保小学校	1人	1人
小 計		1人	1人
言語障害	海老名小学校	1人	1人
	中新田小学校	1人	1人
小 計		2人	2人
小学校合計		290人	56人

種別	学校名	児童生徒数	職員数
知的障がい	海老名中学校	6人	1人
	有馬中学校	4人	1人
	海西中学校	2人	1人
	柏ヶ谷中学校	4人	1人
	大谷中学校	4人	1人
	今泉中学校	10人	2人
小 計		30人	7人
自閉症 情緒障がい	海老名中学校	11人	2人
	有馬中学校	13人	2人
	海西中学校	11人	2人
	柏ヶ谷中学校	14人	2人
	大谷中学校	10人	2人
	今泉中学校	9人	2人
小 計		68人	12人
肢体不自由	海老名中学校	1人	1人
小 計		1人	1人
病弱 身体虚弱	有馬中学校	1人	1人
	大谷中学校	1人	1人
	今泉中学校	1人	1人
小 計		3人	3人
中学校合計		102人	23人

【特別支援学校就学状況（小中学部計）】

（令和8年5月1日時点）

学校名	小学部	中学部	合計
えびな支援学校（肢体）	9人	2人	11人
えびな支援学校（知的）	14人	13人	27人
東京都立光明学園	0人	1人	1人
合 計	23人	16人	39人

イ 通級指導教室

本市には、小学校通級指導教室（「ことばの教室」「そだちの教室」）と、中学校通級指導教室（「じりつの教室」）があります。通級指導教室は、こどもたち一人ひとりの学びの充実を図り、さらにフルインクルーシブ教育を推進していくための一つの仕組みになります。通常の学級に在籍しながら、一人ひとりの特性や、得意・不得意に合わせて、週に数時間支援を受けられる教室です。

【通級指導教室 児童生徒数】（令和8年5月1日時点）

設置校	児童生徒数	職員数
柏ヶ谷小学校 ことばの教室【言語】	56	4
杉久保小学校 ことばの教室【言語】	33	3
有馬小学校 ことばの教室【言語】※巡回型	71	4
中新田小学校 そだちの教室【情緒】	55	4
上星小学校 そだちの教室【情緒】	46	4
海老名小学校 そだちの教室【情緒】※自校型	15	1
大谷小学校 そだちの教室【情緒】	25	2
今泉小学校 そだちの教室【情緒】※自校型	30	3
杉本小学校 そだちの教室【情緒】	24	2
有鹿小学校 そだちの教室【情緒】※自校型	12	1
東柏ヶ谷小学校 そだちの教室【情緒】※自校型	23	2
社家小学校 そだちの教室【情緒】※自校型	12	1
大谷中学校 じりつの教室【情緒】※自校型	24	2
海西中学校 じりつの教室【情緒】※巡回型	22	2
柏ヶ谷中学校 じりつの教室【情緒】※巡回型	32	3
有馬中学校 じりつの教室【言語】※自校型	12	1
合計	492	39

※巡回型…複数の学校を教員が巡回して指導します。

※自校型…在籍校の児童・生徒のみの通級指導となります。他は全て、拠点型の通級指導教室になりますが、どの学校に在籍していても通級指導教室を利用することができます。

ウ 教育相談

児童生徒一人ひとりの諸課題について、保護者や学校の相談に応じ、ともに適切な支援方法やよりよい学びの場について話し合います。また、未就学児の保護者を対象に、就学相談を実施し、就学児もその保護者も安心して小学校生活を送ることができるように、保育所や幼稚園、療育施設等の所属機関や就学先の小学校と連携をしています。

エ インクルーシブサポートスタッフ（旧介助員）・看護スタッフ（旧看護介助員）の派遣

本市では、身辺処理の介助、移動の介助や安全確保、学習活動の支援を行うインクルーシブサポートスタッフを、主に特別支援学級に派遣しています。また、医療的ケアを必要とする児童生徒が在籍している学校に、看護スタッフを派遣しています。

オ 言語聴覚士による巡回指導

特別支援学級に在籍する言語にかかわる障がい等のある児童生徒に対して、巡回指導を行っています。摂食や嚥下等に困難さがある場合には、機能訓練も行っています。

（４） 人権教育

学校教育において、人権ふれあい教育を推進しています。各学校においては教師一人ひとりが人権ふれあい教育についての理解を深め、「人と人とのふれあい」「人と自然とのふれあい」「社会とのふれあい」等の実践的活動ができるよう、全教育活動を通して積極的に推進を図っています。

「『個性、共生、共育』の意識づくり」「差別をしない、させない、許さない」「地域との協働や体験学習の充実」の３つの基本方針を基に、教職員の人権に係る意識向上を図るとともに、児童生徒が自分と違う他者や多様性について考えることを重点として取組を進めました。

ア 教職員研修・会議

	研修・会議名 日時・会場	講師	内容(概要)	参加者数
1	人権教育担当者会議 5月12日（月）		国や県、市の人権教育に対する方針の確認と人権課題に関する情報提供や各学校の計画を共有した。	18名
人権団体や県・県央教育事務所が主催する研修会等への参加				

イ 児童生徒対象事業

性的マイノリティについて正しく理解することを通して、偏見や差別をすることなく、多様性を受け入れ、共生していこうとする心情を養うため、中学生を対象として性の多様性に関する講演会を平成30年度から行っています。令和6年度から、中学校1年生又は2年生での実施とし、各校の実態に合わせた学年での実施としています。多様性を受け入れる大切さについて、自分自身をふり返りながら考える機会として継続して取り組んでいます。

また、小学校2年生を対象に人権擁護委員による「人権教室」を行っています。毎年4校程度の学校で実施できるよう調整をしています。

予算	実施校数	講師	対象者
180,000円	中学校4校	ダイバーノン 代表 飯田 亮瑠氏	中学1・2年生

※大谷中、今泉中は体育館工事のため、令和7年度は未実施

ウ 配付物

「子どもの権利条約」を小学4年生と中学1年生全児童生徒を対象として配付しています。

	配付物	対象者	配付数
小学校	子どもの権利条約	4年生	1,303部
中学校	子どもの権利条約	1年生	1,191部

(5) 新たな学校体制づくり

ア 小中一貫教育

小中一貫教育の推進を重点とし、同じ中学校区の小中学校教員が目指す児童生徒像を共有し、9年間の学びのつながりをつくることで、義務教育9年間で最大限有効に使った教育活動を展開しています。

各中学校区で、年度末に小学校6年生が中学校の授業を見学したり、部活動を体験したりしています。有馬中学校区は、学区が広範囲に渡るため、移動支援のためのバスを配車しています。

イ 学校運営協議会

市内小中学校すべてに学校運営協議会を設置しています。保護者、地域住民の学校運営への参画の促進及び協働を進めることにより、学校と保護者、地域住民等との信頼関係を深め、一体となって学校を支援するとともに、児童生徒の豊かな学びと健やかな育ちの創造に取り組んでいます。

大谷中学校区については、中学校1校、小学校2校による学校運営協議会を実施しています。中学校区で、学校教育目標を作成し、同一の教育理念を共有し、協議を重ねています。

年度	実施回数	委員委嘱人数
令和5年度	67回	209人
令和6年度	64回	208人
令和7年度	62回	213人

ウ 架け橋プログラム

幼児教育と小学校教育の円滑な接続を目指し、「架け橋プログラム」を推進しています。4つの会議体があり、行政、公立・民間保育園、幼稚園、小学校が連携し、組織的なカリキュラム開発に取り組んでいます。具体的には、園と小学校の教職員が「こどもの姿」を根拠に対話を行い、学校探検のカリキュラムや4・5月のスタートカリキュラム週案を作成しました。現場の実践と協議を往還させることで、こどもの育ちを支える指導体制の整備とカリキュラムの改善を図っています。

(6) 学校図書館

「主体的・対話的で深い学び」を実現する場として、学校図書館の活用推進を図るため、学校図書を充実させ、新聞を配架しています。「読書センター」の機能だけでなく、「学習センター」「情報センター」としての学校図書館の機能を発揮できるよう、読み物の図書に加え、授業等学校教育活動にかかわる図書の蔵書増進を図っています。

ア 蔵書

「学校図書館図書標準」を満たした蔵書構成、学校図書館の蔵書の質的な充実に努めています。

【小学校】

学校名	蔵書数(冊)
海老名小学校	11,211
柏ヶ谷小学校	9,151
有鹿小学校	11,428
有馬小学校	9,180
大谷小学校	11,303
上星小学校	10,001
中新田小学校	10,474
門沢橋小学校	8,944
東柏ヶ谷小学校	10,108
社家小学校	10,083
杉久保小学校	10,785
今泉小学校	10,466
杉本小学校	10,317

【中学校】

学校名	蔵書数(冊)
海老名中学校	10,632
有馬中学校	10,298
海西中学校	11,149
柏ヶ谷中学校	9,928
大谷中学校	9,102
今泉中学校	11,371

※令和8年4月1日現在

イ 図書館支援員

平成26年度から市内小中学校に学校図書館支援員を配置し、学校図書館の環境整備、選書、蔵書点検、児童生徒及び教職員への資料提供や授業支援、調べ学習支援を行っています。

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
派遣人数	13人	13人	13人
各校派遣日数	94日	94日	94日

(7) 屋内プール水泳学習

老朽化や安全対策のため、平成19年度から市内の屋内温水プールを利用して、小中学校の水泳学習を施行しました。現在では全校の学校プールを廃止し、屋内温水プールにて水泳の授業を実施しています。

	決算	延べ実施回数	延べバス台数
小学校	32,594,089円	240回	438台
中学校	1,142,240円	12回	12台

(8) 部活動充実支援

部活動の実践的活動を支援し、円滑な実施及び充実、推進を図るとともに、部活動の指導者を派遣することにより、技術の向上・活動の活性化を図ります。

ア 部活動実施（設置）状況

<運動部>

	部活動名	海老名	有馬	海西	柏ヶ谷	大谷	今泉
1	サッカー	●	●	●	●	●	●
2	野球	●	●	●	●	●	●
3	バスケットボール	●	●	●	●	●	●
4	ソフトテニス	●	●		●	●	●
5	バレーボール	●	●	●	●	●	
6	バドミントン	●	●	●	●	●	●
7	剣道		●	●	●	●	
8	陸上競技		●	●			●
9	卓球		●	●	●		
10	ラグビー				●		●
11	ソフトボール		●			●	●

<文化部>

	部活動名	海老名	有馬	海西	柏ヶ谷	大谷	今泉
1	吹奏楽	●	●	●	●		●
2	合唱		●			●	●
3	英語	●			●		
4	技術家庭科（技術）				●		
5	社会歴史研究			●			
6	パソコン					●	●
7	美術（美術・アートクラフト）	●	●	●	●	●	●
8	自然科学	●					●

	部活動名	海老名	有馬	海西	柏ヶ谷	大谷	今泉
9	文芸（芸術）イラスト(漫画)			●	●		
10	囲碁将棋			●	●		
11	写真				●		
12	放送						●

イ 部活動指導員派遣（人数）

	海老名	有馬	海西	柏ヶ谷	大谷	今泉
運動部	6	14	15	12	7	8
文化部	2	2	4	7	0	6

ウ 部活動支援員派遣（人数）

	海老名	有馬	海西	柏ヶ谷	大谷	今泉
運動部	6	12	5	6	8	6
文化部	1	1	2	6	1	4

（９） 学習支援ボランティア

海老名市の小中学校に在籍する児童生徒が学習や生活等の支援を必要とする場合、ボランティアを派遣することにより、本市の教育の向上に資することを目的としています。

活動の内容は配慮を必要とする児童生徒への生活支援、授業における学習支援、放課後における学習支援、その他学校の要請に応じられる支援となっており、報酬は活動１回につき、2,000円（令和６年度までは1,100円）を支給しています。

派遣状況(延べ人数)

	令和５年度	令和６年度	令和７年度
小学校	2,589人	1,896人	2,177人
中学校	65人	124人	114人

7 教育相談

(1) 相談内容及び件数

相談内容	全相談件数					
	令和5年度		令和6年度		令和7年度	
	総数	実数	総数	実数	総数	実数
犯罪・触法	30件	11件	17件	6件	10件	3件
虞犯不良行為	34件	6件	78件	15件	125件	23件
神経精神（発達）	585件	206件	871件	266件	1,454件	347件
家庭内暴力	3件	3件	4件	2件	9件	3件
家族関係	755件	178件	787件	189件	1,085件	203件
いじめ	1件	1件	6件	5件	3件	3件
不登校	2,590件	372件	1,857件	291件	1,557件	272件
学業・進路・進学	246件	198件	106件	76件	99件	77件
学校生活	66件	26件	131件	55件	81件	53件
男女交際	0件	0件	0件	0件	0件	0件
性の悩み	1件	1件	16件	3件	0件	0件
対人関係	0件	0件	5件	4件	28件	4件
その他	16件	7件	18件	6件	8件	3件
合計	4,327件	1,009件	3,896件	918件	4,459件	991件

8 安全対策

(1) 人的支援について

ア 通学路巡回パトロール員



人 数	18名 ・ 2名ずつ3台に分けて巡回 ・ 登校時・下校時に各6名体制
車両台数	3台 ・ 青色防犯パトロール車
巡回場所	市内全域の通学路 ・ 北部・中部・南部のエリアごとに巡回
巡回時間 (原則)	登校時：7時30分～9時30分 下校時：12時30分～16時30分
年間巡回日数	210日

イ 学校安全監視員



人 数	39名 ・ 小学校13校に各3名 ・ 午前・午後に各1名体制
配置場所	市立小学校13校
配置時間 (原則)	午前：8時00分～12時00分 午後：12時00分～16時00分
年間配置日数	210日

ウ 通学路立哨員



人 数	2名 ・ 登校時・下校時に各1名体制
配置場所	市立柏ヶ谷小学校の通学路
配置時間 (原則)	登校時：7時40分～8時40分 下校時：14時20分～16時20分
年間配置日数	210日

(2) 不審者情報

年度	露出	声かけ	暴行	盗撮	つきまとい	その他	合計
令和5年度	5件	16件	0件	4件	11件	10件	46件
令和6年度	17件	18件	0件	9件	12件	13件	73件
令和7年度	12件	10件	4件	4件	15件	23件	68件

(3) 新型コロナウイルス感染症対策について

(令和8年4月1日時点)

ア 海老名市立小中学校の学校再開ガイドラインの作成

緊急事態宣言の解除後の学校教育活動の再開に向け、「海老名市立小中学校の学校再開ガイドライン」を作成しました。このガイドラインでは、令和2年6月1日からの分散登校や児童生徒への保健指導「えびなっ子スタイル」、長期休業期間の短縮、心のケアなど学校再開にあたっての詳細を定めたものです。

イ 「学校の新しい生活様式」ガイドラインの作成

令和2年7月、海老名市の新型コロナウイルス感染症対策本部会議により海老名市内地域の感染状況を判断しレベルで表し、そのレベルに準じた教育活動の行動基準を「『学校の新しい生活様式』ガイドライン」として策定しました。令和3年度は、ウイルスの変異株の出現により再び緊急事態宣言が県下に発令され、対策の強化が求められました。

令和4年度は、オミクロン株と呼ばれる変異株が主となり、感染力が強いためより罹患しやすく、健康観察の強化と医療機関への受診・相談、医療用抗原検査キット等を使用した対策等を求めました。また、地域の感染状況に合わせてレベルを捉え直し、学校教育活動を継続できるよう方針を示しました。

	名称	策定日時	地域の 感染レベル	備考
1	海老名市立小中学校の 学校再開ガイドライン	令和2年5月27日	なし	～5/31臨時休業 6/1～12分散登校
2	「学校の新しい生活様式」 ガイドライン	令和2年7月1日	レベル1	教育課程再編成
3	「学校の新しい生活様式」 ガイドライン	令和2年11月1日	レベル1	健康管理カード導入 開始
4	「学校の新しい生活様式」 ガイドライン	令和2年12月1日	レベル2	11月中旬から 感染者増加傾向
5	「学校の新しい生活様式」 ガイドライン	令和3年1月8日	レベル3	1/7 緊急事態宣言発出
6	「学校の新しい生活様式」 ガイドライン	令和3年4月1日	レベル2	4/1～リバウンド防止期間 4/16まん延防止等重点措置対象
7	「学校の新しい生活様式」 ガイドライン	令和3年7月1日	レベル1	6/21まん延防止等重点措 置解除
8	「学校の新しい生活様式」 ガイドライン	令和3年8月23日	レベル3	8/2 緊急事態宣言発出
9	「学校の新しい生活様式」 ガイドライン	令和3年9月3日	レベル3	8/27 2学期開始 登校時検温
10	「学校の新しい生活様式」 ガイドライン	令和3年10月1日	レベル2	10/1 緊急事態宣言解除
11	「学校の新しい生活様式」 ガイドライン	令和3年10月16日	レベル1	感染者数減少続く

	名称	策定日時	地域の 感染レベル	備考
12	「学校の新しい生活様式」 ガイドライン	令和3年12月22日	レベル1	年末年始に向けて
13	「学校の新しい生活様式」 ガイドライン	令和4年1月20日	レベル2	1/21～まん延防止等重点措置適用
14	「学校の新しい生活様式」 ガイドライン	令和4年2月24日	レベル2	2/4オミクロン株に対応した感染症対策
15	「学校の新しい生活様式」 ガイドライン	令和4年3月22日	レベル2	3/22まん延防止等重点措置解除
16	「学校の新しい生活様式」 ガイドライン	令和4年4月5日	レベル2	新年度に向けて
17	「学校の新しい生活様式」 ガイドライン	令和4年5月18日	レベル2	収束局面・可能な限り学校教育活動の継続
18	「学校の新しい生活様式」 ガイドライン	令和4年6月7日	レベル1	感染症対策と並行した熱中症対策
19	「学校の新しい生活様式」 ガイドライン	令和4年8月19日	レベル1	8/29～地域の感染レベルの考え方の変更
20	「学校の新しい生活様式」 ガイドライン	令和4年9月8日	レベル1	療養期間等の見直し
21	「学校の新しい生活様式」 ガイドライン	令和5年4月1日	定めない	学校教育全般で活動制限なし、マスクの着用をしないことが基本

ウ 5類移行後の学校生活について

令和5年5月8日付けで新型コロナウイルス感染症に係る感染症法上の分類が「2類」から「5類」に引き下げられたため、「学校の新しい生活様式」ガイドラインを廃止し、コロナ禍で身についた基本的な保健衛生に係る取組を継続し、学校教育活動を行っていくことにしました。

9 学校保健

(1) 学校事故（独立行政法人 日本スポーツ振興センター扱い）

ア 負傷・疾病の種類別災害発生状況（令和7年度実績）

負傷・疾病別		小学校	中学校	合計
負傷	骨折	85件	68件	153件
	捻挫	21件	49件	70件
	脱臼	3件	4件	7件
	挫傷・打撲	82件	80件	162件
	靱帯損傷・断裂	6件	14件	20件
	挫創	16件	6件	22件
	切創	3件	4件	7件
	刺創	3件	1件	4件
	割創	0件	0件	0件
	裂創	1件	1件	2件
	擦過傷	6件	0件	6件
	熱傷・火傷	3件	0件	3件
	歯牙破折	5件	0件	5件
	その他	0件	0件	0件
	小計	234件	227件	461件
疾病	食中毒	0件	0件	0件
	食中毒以外の中毒	0件	0件	0件
	熱中症	0件	0件	0件
	溺水	0件	0件	0件
	異物の嚥下・迷入	4件	0件	4件
	接触性の皮膚炎	0件	0件	0件
	外部衝撃、相当の運動量、心身に対する負担の累積に起因する疾病	4件	7件	11件
	負傷に起因する疾病	14件	8件	22件
	小計	22件	15件	37件
合計		256件	242件	498件

イ 負傷・疾病の場所別災害発生状況（令和7年度実績）

場所別		小学校	中学校	合計
学校内 校舎内	教室	34件	7件	41件
	実習実験室	4件	3件	7件
	体育館・屋内運動場	33件	94件	127件
	講堂	0件	0件	0件
	遊戯室	1件	0件	1件
	廊下	13件	5件	18件
	昇降口・玄関	4件	0件	4件
	階段	15件	2件	17件
	ベランダ	0件	0件	0件
	屋上	0件	0件	0件
	便所	1件	1件	2件
	その他	2件	0件	2件
	小計	107件	112件	219件
学校内 校舎外	運動場・校庭	80件	95件	175件
	プール	0件	0件	0件
	排水溝	1件	0件	1件
	手足洗場	0件	0件	0件
	水飲み場	1件	0件	1件
	農場	0件	0件	0件
	その他	3件	1件	4件
	小計	85件	96件	181件
学校外 校舎外	道路	21件	4件	25件
	公園・遊園地	1件	0件	1件
	運動場・競技場	0件	9件	9件
	体育館	0件	13件	13件
	山林野	3件	0件	3件
	海・湖・沼・池	0件	1件	1件
	河川	0件	0件	0件
	その他	1件	1件	2件
	小計	26件	28件	54件
合計		218件	236件	454件

(2) インフルエンザワクチン接種助成

家庭の経済状況にかかわらず、「入学試験」や「就職試験」などの人生の節目を迎える中学3年生が、インフルエンザに罹患することなく、試験等において十分に力を発揮できるよう、インフルエンザ予防接種費の助成を行っています。

各中学校におけるインフルエンザワクチン対象者数及び接種数の実績
(令和7年度実績)

(単位：人、%)

学校名	対象者数	接種数	割合
海老名中学校	165	81	49.1
有馬中学校	208	96	46.2
海西中学校	165	93	56.4
柏ヶ谷中学校	194	94	48.5
大谷中学校	187	113	60.4
今泉中学校	219	120	54.8
私学等	100	36	36.0
合計	1,238	633	51.1

10 学校給食

(令和8年5月1日時点)

(1) 学校給食の状況

- ・ ミルク給食がスタート
- ・ 昭和48年5月 共同調理場方式による学校給食センターを開設し、直営による小中学校完全給食を開始
- ・ 昭和52年4月 共同調理場方式による南部学校給食センターを開設
- ・ 昭和56年9月 中学校完全給食をミルク給食に切り替え
- ・ 平成5年9月 給食の食器をランチ皿から個別食器に改善
- ・ 平成14年4月 南部学校給食センターの調理業務委託を開始
- ・ 平成20年1月 東柏ヶ谷小学校において、単独校方式による給食施設を開設し、直営による自校給食を開始
- ・ 平成20年4月 学校給食センターの調理業務委託を開始
- ・ 平成23年度 市内全中学校で選択式給食（配食弁当）を開始
- ・ 平成24年度 学校給食費を「私会計」から「公会計」へ移行
- ・ 平成24年9月 学校給食センターと南部給食センターを統合し、海老名市食の創造館(多機能共同調理場)を開館、小学校給食を開始
- ・ 平成27年度 食の創造館を指定管理による管理運営へ移行
- ・ 平成30年4月 東柏ヶ谷小学校における給食運営を調理業務委託として開始
- ・ 令和元年度 学校給食検討委員会を設立し今後の給食のあり方を検討
- ・ 令和2年度 食の創造館の管理運営を指定管理から市直営へ移行
- ・ 令和3年度 学校給食検討委員会の結果を受け、中学校給食調理施設の建設準備を開始
- ・ 令和4年6月 食の創造館別館建設開始
- ・ 令和5年4月 中学校給食の完全実施に向けて中学校給食実施検討会を設立
- ・ 令和6年1月 食の創造館別館竣工
- ・ 令和6年4月 中学校給食完全実施

(2) 学校給食の目標

- ・ 地産地消を推奨し、郷土や食材への感謝の気持ちを育むとともに、食生活についての正しい理解と望ましい習慣を養います。
- ・ 児童の健康に配慮し、食品の安全確保と衛生管理の徹底に努めます。
- ・ 学校訪問による児童への指導や、保護者の要望に応じた試食会を通じ、食育の推進や学校給食への理解が深まるよう積極的に努めます。
- ・ 児童の嗜好を把握しつつ、栄養改善や健康増進に向けて献立を工夫します。

(3) 給食内容の充実

献立作成においては、児童の嗜好の変化や栄養のバランスに十分配慮し、一層の充実を図ります。また、学校給食摂取基準に従い、通常、不足しがちな鉄分や食物繊維の摂取量を増やすなど、工夫と改善に努めています。

(4) 施設の概要

ア 海老名市食の創造館



所在地	海老名市中新田四丁目12番2号
敷地面積	4,973.55㎡
構造・規模	鉄骨造2階建
建築面積	2,481.98㎡
延床面積	3,484.21㎡
調理能力	8,000食/日
供用開始	平成24年9月
給食実施数	7,225食（令和8年5月1日現在）
運営形態	調理業務委託
特徴	給食機能に加え、食育を推進し、広く市民にサービスを提供する市民開放型の多機能施設を目指し、調理実習室や会議室を一般開放するほか、災害時の炊き出し、幼稚園給食等も視野に入れた施設活用を図っています。

イ 海老名市食の創造館別館



所在地	海老名市中新田四丁目12番3号
敷地面積	1,222.52m ²
構造・規模	鉄骨造3階建
建築面積	862.10m ²
延床面積	2,209.38m ²
調理能力	4,500食
供用開始	令和6年4月
給食実施数	3,546食（令和8年5月1日現在）
運営形態	調理業務委託
特徴	災害時の炊出しにも対応可能です。また、既存施設は都市ガス、本施設は電気と熱源を分けることでリスクの分散を図っています。

ウ 東柏ヶ谷小学校給食室



所在地	海老名市東柏ヶ谷六丁目9番7号 （※海老名市立東柏ヶ谷小学校内）
敷地面積	325.50m ²
調理能力	700食/日
供用開始	平成20年1月
給食実施数	417食（令和8年5月1日現在）
運営形態	調理業務委託

11 就学援助

スクールライフサポート（就学援助）制度では、経済的な理由により就学困難な海老名市立小中学校の児童生徒の世帯に対し、学用品費や給食費など、学校生活に必要な費用の一部を援助しています。

（１） スクールライフサポート（就学援助）の認定者数及び認定率

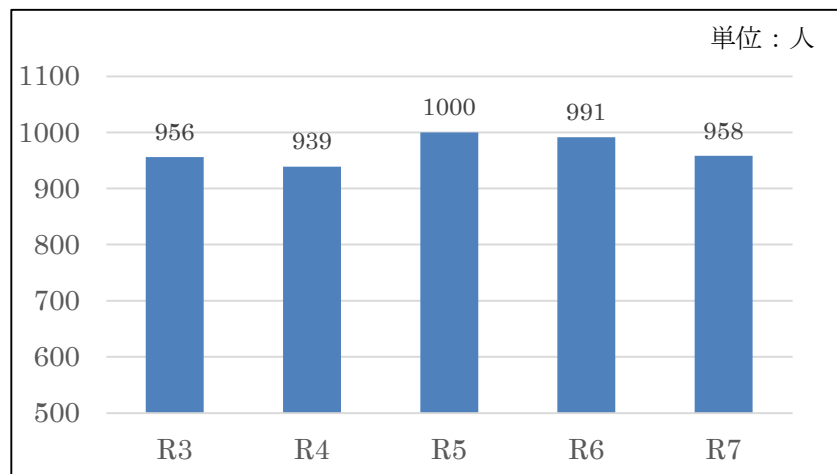
ア 小学校

年度	児童数 (A)	申請者数 (B)	認定者数 (C)	認定率 (C/A)	認定率 (C/B)	否認定者数
R 5	7,118人	674人	649人	9.12%	96.29%	25人
R 6	7,109人	673人	626人	8.81%	93.02%	47人
R 7	7,141人	659人	603人	8.44%	91.51%	56人

イ 中学校

年度	生徒数 (A)	申請者数 (B)	認定者数 (C)	認定率 (C/A)	認定率 (C/B)	否認定者数
R 5	3,378人	372人	351人	10.39%	94.35%	21人
R 6	3,402人	389人	365人	10.73%	93.83%	24人
R 7	3,370人	387人	355人	10.54%	91.74%	32人

スクールライフサポート（就学援助）の認定者数推移



12 奨学金

(1) 目的

経済的理由により、学校教育法に規定する高等学校・中等教育学校の後期課程・専修学校・高等専門学校（第3学年まで）への修学等が困難な方に奨学金を給付し、未来の夢や目標の実現を支援するものです。（生活保護世帯は対象外となります。）

(2) 奨学金の額

年額80,000円

(3) 奨学金支給実績

令和7年度

(人数)

学年	申請	申請内訳		支給	不支給	辞退
1	20	新規	20	20	0	0
		継続				
2	25	新規	6	6	0	0
		継続	19	18	1	0
3	29	新規	6	5	1	0
		継続	23	21	2	0
4 (定時制)	0	新規				
		継続				
計		74		70	4	0

令和6年度

(人数)

学年	申請	申請内訳		支給	不支給	辞退
1	31	新規	31	29	2	
		継続				
2	29	新規	1	1	0	0
		継続	28	26	2	0
3	14	新規	3	3	0	0
		継続	11	11	0	0
4 (定時制)	0	新規	0	0	0	0
		継続	0	0	1	0
計		74		70	4	0

13 保護者負担軽減

子どもたちが学校生活を送る上で、保護者は教材費や通学用服(制服)、修学旅行費など、さまざまな経費を負担していました。

このため、平成29年7月から平成30年8月まで、海老名市立小中学校における保護者負担経費の在り方について、「公平性を確保すること」、「保護者への説明責任を確実に果たすこと」を基本的な考え方として、海老名市保護者負担経費検討委員会で協議・検討を進めてきました。

また、令和6年5月から令和7年1月まで、海老名市立学校における保護者負担経費の在り方検討委員会で改めて保護者負担軽減の在り方についてこれまでの取組及び社会経済情勢を踏まえて協議・検討を進めてきました。

今後は、周知や説明を十分に行っていく、学校・家庭・行政で連携した取組を行うことによって、保護者負担経費の適正化に積極的な推進を図っていきます。

(1) ジャージ服(上下)について

平成30年から令和5年にかけて、中学校6校のジャージ、体操着(ハーフパンツ)選定コンペを実施しました。これにより価格が抑制されたことで、保護者負担軽減につながるとともに、質を高めることができました。

(単位: 円)

学校名	現行ジャージ				コンペ開催日 参加申込 業者数	落札者 契約期間	新ジャージ				差額
	上	下	ハーフ パンツ	合計 金額			上	下	ハーフ パンツ	合計 金額	
海老名中学校	4,968	4,428	2,268	11,664	H30. 8. 21 13者	(株)トンボ H30. 9. 1~R3. 8. 31	4,150	3,150	1,700	9,000	△2,664
海 西中学校	4,968	4,644	3,024	12,636	R1. 10. 11 6者	阿部被服(株) R1. 11. 18~R4. 8. 31	3,850	3,190	2,090	9,130	△3,506
有 馬中学校	5,184	4,536	3,024	12,744	R2. 2. 19 8者	(株)トンボ R2. 5. 8~R5. 8. 31	3,850	3,600	2,450	9,900	△2,844
柏ヶ谷中学校	5,170	4,400	3,190	12,760	R4. 8. 6 4者	(株)トンボ R4. 12. 1~R7. 8. 31	4,400	3,750	2,550	10,700	△2,060
大 谷中学校	4,536	4,428	2,754	11,718	R4. 8. 20 5者	児島(株) R4. 12. 1~R7. 8. 31	3,850	3,190	2,390	9,430	△2,288
今 泉中学校	4,730	4,620	2,310	11,660	R5. 8. 25 1者	児島(株) R5. 9. 1~R8. 8. 31	5,060	3,740	2,640	11,440	△220

卸売価格見積り合わせ実施状況一覧

学校名	現行ジャージ				見積り合わせ 実施日 参加申込 業者数	落札者 契約期間	ジャージ卸売価格(税込み)				《参考》 差額	備考
	上	下	ハーフ パンツ	合計 金額			上	下	ハーフ パンツ	合計 金額		
海老名中学校	4,968	4,428	2,268	11,664	R5. 7. 21 1者	(株)トンボ R5. 9. 1~R8. 8. 31	3,190	2,860	1,870	7,920	△1,080	刺繍代含まず
海 西中学校	4,968	4,644	3,024	12,636	R5. 7. 21 1者	阿部被服(株) R5. 9. 1~R8. 8. 31	3,520	2,750	2,200	8,470	△660	刺繍代含む 各220円(税込)
有 馬中学校	5,184	4,536	3,024	12,744	R5. 7. 21 1者	(株)トンボ R5. 9. 1~R8. 8. 31	3,630	3,190	2,200	9,020	△880	刺繍代含まず

コンペにより選定したジャージ(海老名中学校)



(2) 教材費無償化事業

これまでも入学時の負担軽減のため小学1年生、中学1年生に対しては市が教材費を負担していましたが、令和6年度から小・中全学年を対象に教材費無償化事業を実施しています。

私立学校等に通う小・中学生に対しては市立学校の教材費の学年上限を限度に補助金を交付しています。

＜市立学校教材費補助・私立学校教材費補助金の学年別上限額（一人あたり）＞
令和8年度

小学校		中学校	
1年生	10,600円	1年生	17,900円 (リコーダーは除く)
2年生	9,600円 (絵の具セットは除く)	2年生	13,700円
3年生	12,100円 (書道セット、リコーダーは除く)	3年生	14,800円
4年生	11,600円		
5年生	12,700円 (裁縫基本キットは除く)		
6年生	13,700円		

(3) 修学旅行保護者負担軽減補助金

修学旅行を通じた児童生徒の学びを保障し、児童生徒の保護者の経済的な負担の軽減を図るため、児童生徒の修学旅行に要する経費に対し、補助金を交付しています。

補助金の対象者は、海老名市在住の修学旅行に参加する小学校6年生の保護者及び中学校3年生の保護者で、補助金の上限額は、小学校児童一人あたり10,000円、中学校生徒一人あたり15,000円です。

＜補助金額＞

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
小学校	11,870,000円	11,390,000円	11,872,730円
中学校	15,337,297円	15,070,100円	15,503,086円

(4) 修学旅行等キャンセル料補助金

修学旅行等を災害等の理由により中止、延期及び不参加とした場合に発生するキャンセル料（旅行業者へ支払う違約金、交通費・宿泊費等の追加料金など）に対し、児童生徒の保護者の経済的な負担の軽減を図るため、補助金を交付しています。

＜補助金額＞

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
小学校	0円	0円	0円
中学校	344,594円	138,707円	60,000円

(5) 野外教育活動推進事業補助金

野外教育活動に参加する小学校児童の保護者の負担軽減を図るため、野外教育活動に要する経費に対し、補助金を交付しています。

＜補助金額＞

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
小学校	14,962,689円	17,163,371円	17,443,140円



第4章 社会教育・その他

1 社会教育の推進

(1) 社会教育委員会議

社会教育法第17条の規定により、市の社会教育に関し助言をするため、教育委員会から委嘱された社会教育委員により実施される会議です。

海老名市の社会教育委員会議は、図書館協議会を兼ねていることから、市立図書館の運営等についても協議を行っています。

なお、委員の任期は1年、定数は10人以内となっており、次の者から教育委員会が委嘱しています。

ア 学校教育関係者	1人
イ 社会教育関係者	4人
ウ 家庭教育の向上に資する活動を行う者	2人
エ 学識経験者	3人

【社会教育委員会議・令和7年度実績】

	日時	場所	出席 委員数	議題・報告等
第1回	6月19日(木) 10:00~12:10	えびなこども センター2階 201会議室	7人	県社会教育委員連絡協議会理事及び学校・地域ネットワークづくり運営委員の選出について
				海老名市社会教育計画について
				えびなっ子ふれあいフェスタ・えびなっ子いきいきシンポジウムについて
				令和7年度社会教育関係団体への補助金について 海老名市立図書館について
第2回	7月29日(火) 10:00~12:00	えびなこども センター2階 201会議室	10人	えびなっ子ふれあいフェスタ・えびなっ子いきいきシンポジウムについて
				関東甲信越静神奈川大会における分科会発表について
				次期社会教育計画について
第3回	10月8日(水) 14:00~16:10	えびなこども センター1階 健診室	10人	海老名市社会教育計画について
				えびなっ子ふれあいフェスタ・えびなっ子いきいきシンポジウムについて
				図書館のシステム更新について
				海老名市立図書館について
第4回	1月28日(水)	書面開催	10人	海老名市社会教育計画(案)について
				えびなっ子ふれあいフェスタ・えびなっ子いきいきシンポジウムについて
				海老名市立図書館に関するアンケート結果について
第5回	2月6日(金) 14:00~15:40	えびなこども センター2階 201会議室	9人	第4回社会教育委員会議(書面開催)結果について
				海老名市社会教育計画について
				令和8年度海老名市社会教育関係団体への補助金について
				海老名市立図書館の運営について

(2) 社会教育計画

(令和8年4月1日時点)

ア 計画の概要

海老名市では、平成24年度から社会教育を子どもに関わることを中心とした形とすることで、学校教育と社会教育の両面から子どもたちの健全育成を支援してきたところです。令和2年度には「海老名市社会教育計画」を6箇年計画として策定し、子どもと大人がともに育つことを目標として計画を推進することにより、一定の成果を残すことができました。

令和8年度には、前計画に続き、こどもと大人がともに育つ社会の構築を目指して「第3期社会教育計画」を策定しました。

この計画を具現化するため、目指すべき子どもの姿とあわせて目指すべき大人の姿も設定し、各種施策を推進していきます。

イ 計画期間

計画期間は令和8年度から令和12年度までの5年間としています。

※ただし、社会情勢や計画の進捗を踏まえ、社会教育委員会議に諮りながら必要に応じて見直しを行います。

(3) えびなっ子いきいきシンポジウム及びえびなっ子ふれあいフェスタ（令和7年度実績）

社会教育計画の目指すべき子どもの姿を共有する場として、また、社会教育関係団体の連携を図る場として「えびなっ子ふれあいフェスタ・いきいきシンポジウム」を令和7年度も実施しました。

ア ふれあいフェスタ

「えびなっ子ふれあいフェスタ」は、子どもも大人も参加体験できる場を提供し、体験をとおして社会教育への関心を高め、自分の生き方につなげていくことをねらいとしています。

令和7年度は「雅書楽」、「スカウト連」、「はやし保存会」、「茶道協会 和会」、「海老名二胡の会」、「つくってあそぼう」、「えびな支援学校」、「太極拳協会」、「海老名市立図書館」に体験活動を提供していただいたところ、事前申込制とした体験には多くの応募があり、当日も、参加した子どもたちが様々な体験活動を楽しんでいました。



イ えびなっ子いきいきシンポジウム

市内で活動する社会教育団体が社会教育計画の目指すべき子どもの姿を共有する場として、「えびなっ子いきいきシンポジウム」を開催しました。

令和7年度は「元気にあいさつできる子」をテーマに、社会教育団体の活動紹介や教育長とのトークセッション、参加した社会教育団体同士での意見交換などを行い、大人たちにとっても、改めて海老名の子どものために何ができるかを考える大変貴重な機会となりました。

(4) 社会教育関係団体支援

子どもたちの社会教育活動を推進する青少年育成団体に対し活動支援を行っています。

- ・スカウト連絡協議会
- ・単位子ども会
- ・青少年健全育成連絡協議会
- ・青少年指導員連絡協議会
- ・PTA連絡協議会

(5) 市民講座（まなBINA）

社会教育の充実を図ることを目的とし、幅広い年齢層を対象に学びの場、交流の場を提供するため1テーマごとに連続した講座開催形式を取り入れた講座を実施しています。

各講座のテーマ構成については、市民にとって魅力的な講座となるよう、「歴史、文学の視点」、「高等教育の視点」、「小・中学生育成の視点」の3つの視点でテーマ構成をしています。

【市民講座・令和7年度実績】

○連続講座

テーマ及び講座	開催日	講座タイトル	定員	申込者数 (応募率)	満足度
「『古事記』の神話を読む」 二松学舎大学・日本体育大学 講師 青柳 まや 氏	7月10日(木)	『古事記』の冒頭を読む	60名	60名 (100%)	92%
	7月17日(木)	イザナキとイザナミの結婚			
「江戸時代の金銭事情～古文書を通じた地域のリアル～」 明治大学・國學院大学 講師 荒木 仁朗 氏	9月3日(水)	経済・金融と農民のリアル	60名	60名 (100%)	50%
	9月10日(水)	公金の運用と代官のリアル			
「生活文化体験：身近な植物を利用して染色してみよう！」 東海大学教養学部 教授 藤吉 正明 氏	9月26日(金)	身近に存在する繊維植物の種類とその活用（室内講義）	24名	24名 (100%)	100%
	10月10日(金)	染色の種類と草木染のやり方（室内講義・野外活動）			
	10月17日(金)	木綿布ハンカチの染色体験（室内体験活動）			
「浮世絵を楽しむ ― その歴史と魅力」 多摩美術大学 講師 山本 ゆかり 氏	11月5日(水)	浮世絵のはじまり ― 菱川師宣	60名	60名 (100%)	96%
	11月12日(水)	華やかな展開 ― 鈴木春信と錦絵			
	11月19日(水)	さらなる成熟 ― 歌麿・北斎・広重			
「続・隣町と海老名～寺と神社の近代～」 長春師範大学客員教授 海老名市文化財保護審議会委員 片山 兵衛 氏	2月2日(月)	神社の近代	60名	60名 (100%)	98%
	2月9日(月)	寺の近代①			
	2月16日(月)	寺の近代②			

○小・中学生のための科学講座

テーマ及び講座	開催日	講座タイトル	定員	申込者数 (応募率)	満足度
「たくさんのタネと遊んで、タネの不思議を体験して、キミもタネ博士だ！」 海老名市立今泉中学校 元中学校教諭 野田 啓司 氏	11月29日(土)	自然の中では、 だれがタネをまくのでしょうか？	20名	8名 (40%)	96%
	12月6日(土)	ほんもののタネで図鑑をつくろう！		10名 (50%)	
	12月13日(土)	生活の中のタネを見て、 さわって、再発見！		11名 (55%)	

(6) 家庭教育学級

現在、子どもを取り巻く環境も日々大きく変化し、そのような中で子育てせざるを得ない状況に不安や戸惑いを感じている保護者も多いと考えられます。

そのため、子育てに関する気づきやヒント、家庭、学校に関することなどを計画的・継続的に学習し、子どもの成長に役立てていただけるよう「家庭教育学級」を実施しています。

令和7年度は小学校5校、中学校2校、幼稚園2園に加えて、保護者の学習機会の提供と学級を開催するPTAの負担を軽減するため、市主催で家庭教育学級も継続して実施しました。

親子参加型で実施するなど、子どもと大人がともに学ぶ場を提供することができ、家庭教育学級の目的については一定以上の効果を得られたと感じています。

【家庭教育学級・令和7年度実績】

学校名等	開催日	テーマ	講師	参加者数
有馬小学校	10月3日(金)	フェイクスイーツを楽しもう	落合 満寿美さん(元保護者)	6人
大谷小学校	1月14日(水)	いのちの話	助産師 山浦 直子 氏	15人
上星小学校	12月19日(金)	大切なわたし大切なあなた	包括的性教育おたすけチームはぐしゃが 平野 美香 氏	22人
門沢橋小学校	12月16日(火)	完成をはぐくむ ～アイリッシュハーブの演奏とお話し～	永山 友美子 氏	15人
	2月13日(火)	生命誕生といのちの大切さ	助産師 山浦 直子 氏	50人
杉久保小学校	11月25日(火)	おなか元気教室	厚木ヤクルト販売株式会社 岩崎 友紀 氏	11人
柏ヶ谷中学校	12月13日(土)	お灸を通して心身共に健康になる	さがみのこころ鍼灸整体院 山口 俊介 氏	15人
今泉中学校	6月26日(木)	いのちの授業	一般社団法人 エンドオブライフケア協会	2人
旭たちばな幼稚園	6月11日(水)	Zoomベビーマザーコース 「0～1才について」	旭たちばな幼稚園 園長 中西 摩耶子 氏	79人
	6月17日(火)	Zoomベビーマザーコース 「1～2才について」		
	6月27日(金)	Zoomベビーマザーコース 「1～2才について」		
	1月17日(土)	お昼寝(午睡) ～脳発達への影響～	玉川大学農学部准教授 佐治 量哉 氏	31人

学校名等	開催日	テーマ	講師	参加者数
海老名みなみ幼稚園	6月12日(木)	『ともだちつくろう♪』年長組	海老名みなみ幼稚園 園長 米山 敏子 氏 (保護者どうしで自由に話し合う場)	109人
	6月19日(木)	『ともだちつくろう♪』年中組		
	6月26日(木)	『ともだちつくろう♪』年少組		
	8月23日(土)	いざという時に役に立つ ～心肺蘇生とAED～	海老名市消防本部 救急隊	31人
	9月22日(月)	もうイライラしない！ ママと子どものお片付け	ここはぐおかたづけ 主宰 野中 幸子 氏	31人
市主催	7月17日(木)	当たり前を見直そう ～インクルージョンの視点から～	一般社団法人 UNIVA 理事 野口 晃菜 氏	70人
	1月14日(水) から31日(土) まで	上手にネットと付き合おう！ ～インターネットの安心安全な 使い方～	e-ネットキャラバン (ビデオオンデマンド型講座)	68人

2 子ども・学校支援事業

海老名市教育委員会の教育理念「ひびきあう教育」に基づき、学校・家庭・地域社会が連携を図り、地域ぐるみで子どもたちの「しあわせ」を求め育むために学校応援体制を整備し、地域力を生かした社会教育と学校支援の実現を目標とした子ども・学校支援事業を実施しています。

(1) 学校・地域ネットワークづくり運営委員会、学校応援団運営委員会

(令和8年4月1日時点)

事業を実施するに当たり、地域力を活かした社会教育と学校支援の充実を図るため、市内各小学校に「学校応援団運営委員会」を設置し、学校と地域の実態に応じた機能的で多様な支援活動を推進しています。

また、各校の運営委員会の活動状況を定期的に把握し、本事業のあり方や学校と地域のネットワークづくりに関することなど、今後の方向性について助言や提言を行うため「学校・地域ネットワークづくり運営委員会」を設置しています。

(2) えびなっ子スクール・あそびっ子クラブ

市内各小学校に設置した学校応援団運営委員会への委託事業として、「えびなっ子スクール」、「あそびっ子クラブ」を実施しています。

「えびなっ子スクール」は、夏季休業中や放課後の時間等を利用し、各学校で子どもや地域の実態に応じて創意工夫をしながら、学校教育ではなかなか体験できない多様なプログラムを実施し、子どもたちに体験学習の場を提供しています。

また、「あそびっ子クラブ」は、子どもたちの放課後の居場所の一つとして、通い慣れた学校の体育館やグラウンドなどを活用して、自由に遊んだり、学年を越えた仲間と交流したりすることで、子どもたちの豊かな創造性や協調性などの育成を目的とする事業です。

【えびなっ子スクール実績・令和7年度】

	延べ開催日数	参加者数
令和7年度	92日	5,920人

【あそびっ子クラブ実績・令和7年度】

	小学校数	延べ開催日数	参加者数
令和7年度	13校	1,876日	48,604人

(3) まなびっ子クラブ

子どもたちに放課後の学習環境を提供し、学力定着を図るため、各小学校で自学自習の場である「まなびっ子クラブ」を実施しています。

【まなびっ子クラブ実績・令和7年度】

	小学校数	延べ開催日数	参加者数
令和7年度	13校	269日	2,000人

(4) 巡回指導

市内の子どもたちを対象に社会教育支援指導員による工作指導や本などの読み聞かせを実施しています。

【巡回指導実績・令和7年度】

	実施場所	実施回数	参加者数（人）
つくってあそぼう （工作指導）	コミュニティセンター等	62回	453人
	あそびっ子クラブ	56回	1,620人
おはなし会 （読み聞かせ）	市立保育園	120回	2,967人
	あそびっ子クラブ	53回	695人

3 青少年健全育成

(1) 青少年指導員

地域社会における青少年の社会生活を健全に育成指導するため、各自治会から推薦いただき、市の有償ボランティアとして活動しています。

任期は2年で、学校・地域単位で行う活動と市域全体に渡る活動があり、市域全体に渡る活動は、オアシス推進部会、文化レクリエーション部会、広報部会、地域活動推進部会の4つの専門部会を設け、活動しています。

(2) ユース・ぷらっとフォーム事業

次世代の担い手である中・高校生や大学生を中心に、自分たちがやりたいこと、住みたいまちの実現に向けた探究活動の場の提供や、地域及び学校の事業に次世代のメンターとして関わりを持つことで、若者の活躍と市民活動への参加促進を目指します。

(3) 二十歳の祝典

年度内に満20歳となる方々の新しい門出を祝福し、社会人としての自覚を高めるために、「成人の日」に式典を開催しています。

また、対象者の中から、有志による実行委員会を設立し、式典の企画から当日の運営までを担っています。

令和7年度の二十歳の祝典は、近年対象者数の増加により1部制ではホールの収容人数を超えてしまうおそれがあるため、昨年度に引き続き2部制で実施しました。

【令和8年二十歳の祝典概要】

- | | | |
|---|-------|---------------------------|
| 1 | 日 時 | 令和8年1月12日（月・祝） |
| | 【第1部】 | 10時30分～ 海老名・柏ヶ谷・今泉中学校の卒業生 |
| | 【第2部】 | 13時30分～ 有馬・海西・大谷中学校の卒業生 |
| 2 | 会 場 | 海老名市文化会館 大ホール |
| 3 | 対象者数 | 1,317人 |
| 4 | 参加者数 | 1,000人（参加率 約76%） |
| 5 | 実行委員 | 12人 |



【「二十歳の祝典」実施の様子】

4 図書館

(1) 図書館概要

平成26年度から指定管理者制度を導入し、指定管理者による運営を行っています。

第二期指定管理者 「えびな学びコンソーシアム」

指定期間 平成31年4月1日から令和6年3月31日まで

第三期指定管理者（中央）「カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社」

（有馬）「TRC・相鉄企業体」

指定期間 令和6年4月1日から令和11年3月31日まで

ア 中央図書館

開館時間 9時から21時まで

休館日 なし

(ア) 建物概要

構造 鉄筋コンクリート4階建/地下1階建

延床面積 3,659.79㎡

開館 昭和60年4月1日/リニューアル平成27年10月1日

(イ) 蔵書数・貸出者数・貸出冊数等（令和7年度）

項 目	実績等
蔵書数*	355,013冊
貸出者数**	264,417人
貸出冊数***	643,755冊
レファレンス件数	95件

* 一般＋児童＋郷土

** 団体除く。

*** 図書取次所を含まず、雑誌含む。

(ウ) イベント等

	回数	参加者数（延人数）
おはなし会	224回	3,535人
講座・イベント	184回	4,137人

イ 有馬図書館

開館時間 9時から21時まで

休館日 毎月最終月曜日（祝日の場合には翌平日）、年末年始

(ア) 建物概要

構造 鉄筋コンクリート造

延床面積 2,321.04㎡（門沢橋コミュニティセンターと同一敷地）

開館 平成7年5月2日/リニューアル令和3年5月1日

(イ) 蔵書数・貸出者数・貸出冊数等（令和7年度）

項 目	実績等
蔵書数*	113,318冊
貸出者数**	32,992人
貸出冊数***	121,519冊
レファレンス件数	47件

* 一般＋児童＋郷土

** 団体除く。

*** 雑誌含む。

(ウ) イベント等

	回数	参加者数（延人数）
おはなし会	42回	466人
講座・イベント	59回	874人

ウ 市民図書室

北部地区の図書利用者の利便性確保のため、東柏ヶ谷小学校内に市民図書室を開室しています。

開館日 毎週土曜日、日曜日

開館時間 9時から17時まで

項 目	実績等
蔵書数*	1,110冊
貸出者数**	1,825人
貸出冊数***	5,537冊

* 一般＋児童＋郷土 ** 団体除く。

*** 雑誌含む。

(2) 図書取次ネットワーク

市内の図書利用者の利便性確保のため、市内2か所に図書取次所を設置し、予約図書の取次及び返却業務を行っています。

名 称	所在地
海老名市障害者支援センターあきば内「カフェはみんぐ」	海老名市上今泉六丁目11番20号
海老名市立国分寺台文化センター	海老名市国分寺台2丁目10番23号

(3) 学校図書館支援センター

市内小中学校19校に司書を週2回派遣し、図書室環境の整備、資料選書支援、授業支援など児童生徒の読書推進を実施しています。

5 学童保育クラブ

市内の学童保育クラブは、すべて民設民営となっていますが、近年の共働き世帯の増加などにより、利用者は年々増加傾向となっています。

そのため、市内の保育園・幼稚園に在籍する児童を対象とした学童保育クラブの利用希望アンケートなどを実施し、その結果を踏まえながら学童保育クラブの適正配置に努めています。

また、スクールライフサポートの認定者で、学童保育クラブを利用している保護者に対し、「学童保育クラブ利用者支援補助金」として保育料の補助を実施しています。

(1) 利用者数（令和8年4月1日現在） (人)

学年	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計
令和6年度	511	469	428	336	261	185	2,190
令和7年度	606	503	424	366	254	191	2,344
令和8年度	587	581	464	327	286	183	2,428

(2) 事業所数（令和8年4月1日現在）

年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業所数	67施設	71施設	75施設

(3) 学童保育クラブ利用者支援補助金

年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度※
申請件数	211件	191件	225件
補助金額（決算額）	25,534千円	26,574千円	35,325千円

※令和8年度は予算額

6 ライフ・スタディサポート事業

生活困窮者自立支援法に基づき、生活困窮世帯に属する中学生に対し、学習習慣の確立・学習意欲の向上を目指して、日常的な生活習慣の定着や居場所づくり、進学に関する支援を実施しています。

北部地区（柏ヶ谷中学校区・今泉中学校区）、中部地区（海老名中学校区・大谷中学校区）、南部地区（有馬中学校区）、西部地区（海西中学校区、今泉中学校区）の計4地区で事業を実施しており、全ての中学校区で受け入れが可能です。アンケート結果からも参加した生徒の学習意欲の向上や生活面での改善が図られています。

【利用実績】

	実施地区	利用者数	実施回数
令和5年度	北部地区	15人	96回
	中部地区	26人	191回
	南部地区	10人	58回
令和6年度	北部地区	15人	90回
	中部地区	21人	164回
	南部地区	12人	87回
	西部地区	10人	108回
令和7年度	北部地区	16人	90回
	中部地区	15人	108回
	南部地区	15人	92回
	西部地区	15人	116回



第5章 文化財

1 文化財関係施設

(令和8年4月1日時点)

(1) 海老名市立郷土資料館「海老名市温故館」

所在地	海老名市国分南一丁目6番36号
登録年月日	令和5年8月7日(文部科学省告示第94号)
建築面積	250.16㎡(延床面積423.5㎡)
敷地面積	515.62㎡
建物構造	木造・鉄骨造2階建
開館時間	午前9時～午後5時15分
休館日	年末年始 ※臨時休館有
概要	大正7年に建築された海老名村役場庁舎を移築し、郷土資料館としたもので、考古資料と民具を中心に展示公開しています。令和5年度に国登録有形文化財に登録されました。
年間来館者数	8,500～14,000名



(2) 海老名市立歴史資料收藏館

所在地	海老名市河原口二丁目27番3号
建築面積	168.56㎡(延床面積333.42㎡)
敷地面積	1,475㎡
建物構造	鉄筋コンクリート2階建
開館時間	午前9時～午後5時
休館日	月曜日、火曜日 年末年始
概要	海老名市をはじめ神奈川県内外の自治体史や各種参考資料の公開、市史編さんの過程等で寄贈された家文書の整理、一部公開、歴史的公文書の保存をしています。
年間来館者数	400～1,400名



(3) 文化財收藏庫

所在地	海老名市国分北二丁目7番46号
建築面積	167.24㎡(延床面積 317.99㎡)
敷地面積	443.02㎡
建物構造	軽量鉄骨造2階建て
收藏資料	相模国分寺跡、相模国分尼寺跡、本郷遺跡、本郷中谷津遺跡、大谷向原遺跡、杉久保遺跡、杉久保内藤原横穴墓群、国分尼寺北方遺跡、秋葉山古墳群、市域における遺跡からの出土品・写真・図面などを收藏しています。

(4) 史跡相模国分寺跡

所在地	海老名市国分南一丁目1925番2ほか
指定年月日	大正10年3月3日(内務省告示第38号)
指定面積	34,841.73m ²
整備状況	塔基壇復原整備、中門跡・僧房跡・南面廊跡・北方建物跡・伽藍地区画溝の表示整備、植栽、遺構説明板の設置など。
概要	天平13(741)年の「国分寺建立の詔」によって全国に建立された国分寺の1つです。法隆寺式伽藍配置という他の国分寺にはあまりみられない建物配置であることが評価されて国指定史跡となりました。
利用案内	常時開放



(5) 史跡相模国分尼寺跡

所在地	海老名市国分北二丁目3220番ほか
指定年月日	平成9年4月3日(文部省告示第59号) 平成14年3月19日(文部科学省告示第43号)追加 平成20年3月28日(文部科学省告示第40号)追加
指定面積	7,157.81m ²
整備状況	公有地部分を整地。
概要	天平13(741)年の「国分寺建立の詔」によって全国に建立された国分尼寺の1つです。全国的にみて国分尼寺跡が確認されているところが少なく、また、金堂跡等の保存状態が良好であることなどが評価されて国指定史跡となりました。
利用案内	常時開放



(6) 史跡秋葉山古墳群

所在地	海老名市上今泉四丁目809番1ほか
指定年月日	平成17年7月14日(文部科学省告示第101号)
指定面積	12,365.07 m ²
概要	平成9年度から平成15年度までの発掘調査によって、弥生時代終末から古墳時代前期前半にかけて継続的に築造された古墳群であることが分かりました。保存状態が良好であり、古墳文化の受容と古墳形態・祭祀の変化が確認できることが評価され国指定史跡となりました。
利用案内	常時開放

(7) 今福薬医門公園（旧今福家住宅）

所 在 地	海老名市中新田一丁目1495番 5
登録年月日	平成30年11月 2 日（文部科学省告示第214号）
面 積	1,400.38㎡
開 園 日	平成20年 1 月
施 設	文庫蔵 1 棟（江戸末期） 表門（江戸末期）及び塀、裏門
概 要	平成16年 5 月に市に寄贈された江戸時代末期の表門（薬医門）と文庫蔵、敷地などを活用して開園した公園です。園内には、近年あまり見かけることがなくなった屋敷林（樹種は50種類以上）や貴重な野草・植物が群生しています。平成30年に旧今福家住宅文書蔵・表門及び塀・裏門が国指定登録有形文化財に登録されました。
利用案内	開園時間：午前10時～午後 4 時30分 休 園 日：12月27日～1 月 4 日



(8) 上浜田 6 号墳

所 在 地	海老名市国分南三丁目1043番27
面 積	29.06㎡
概 要	上浜田古墳群を構成する古墳の 1 つで、4 世紀頃に築造された 1 辺約22m の方墳であったと推定されています。道路整備や宅地開発などにより周辺が削られてしまっているが、わずかに残った墳丘部分を保存しています。

(9) 海老名氏記念碑

所 在 地	海老名市河原口字屋島856番 1
敷地面積	20.035㎡
概 要	「海老名氏」は、平安時代末期から室町時代にかけて海老名を本拠地とした武士の一族で、河原口に居館を構えていたと伝えられ、河原口や上郷からは中世の板碑が出土することや鎌倉幕府に仕えた海老名季定（季貞とも）の供養碑と伝わる石塔等（海老名氏霊堂）もあります。このことから昭和46年12月26日に当時の海老名市文化財保護委員の撰文による『海老名氏記念碑』を建立して、永く後世に伝えることにしました。
利用案内	常時開放

(10) 海老名の大櫓

所在地	海老名市国分南一丁目1150番先
指定年月日	昭和29年3月30日（県指定天然記念物）
概要	推定樹齢570年以上。 大山道に面した、国分寺の参道入口にあり、この付近が入り江になっていた頃に漁師が船をつなぐために逆さに打ち込んだケヤキの杭が根付いたとの伝承があります。
利用案内	常時公開



(11) 有馬のはるにれ（通称：なんじゃもんじゃ）

所在地	海老名市本郷3881番地
指定年月日	昭和29年7月27日（県指定天然記念物）
概要	推定樹齢300年以上。 江戸時代の医師、半井驢庵の下屋敷に植えられていたと伝えられています。当時、ハルニレは大変珍しい木であったため、木の名前を知る者もなく、「なんじゃもんじゃの木」と呼ばれたと云われています。
利用案内	常時公開



(12) 浅井の水（井）

所在地	海老名市国分北一丁目2951番16
敷地面積	61.36㎡
概要	小谷戸にある湧水で、永池川の源流とされます。清水寺（龍峰寺）縁起にある湧き水とされ、湧き水の中央には石造物（宇賀神）があります。近隣の家では水道が敷設されるまで、生活用水として利用していました。平成27年に土地の寄贈を受け、永く後世に伝えることにしました。
利用案内	常時公開

(13) 独鈷（どうこ・どっこ）井戸

所在地	独鈷井戸：海老名市上今泉四丁目847番4の一部
登録年月日	令和6年4月23日（市登録史跡）
面積	独鈷井戸：24.79㎡
概要	常泉院の境内脇にあり、水道が敷かれるまで寺院や近所の人の生活用水として使われていました。市内に現存する貴重な湧水であり、海老名の歴史や文化を理解する上で貴重な史跡であることから市登録史跡として登録されました。
利用案内	常時開放

2 文化財の保護

(令和7年度実績)

市内にある文化財は数多く、史跡、建築物、樹木、有形及び無形の文化財に分類されますが、わが国の歴史や文化の成り立ちを理解する上で欠くことのできない国民固有の財産であり、将来の発展の基礎をなすものです。

したがって、史跡や文化財を次世代に継承していくために適切に保存する必要があります。

(1) 文化財保護事業

ア 市指定重要文化財などへの助成支援等

市指定重要文化財補助金(有形文化財20件・無形民俗文化財1件)
はやし保存連絡協議会への補助金

イ 史跡等の維持管理

史跡相模国分寺跡・史跡相模国分尼寺跡・史跡秋葉山古墳群・今福薬医門・浅井の水等の草刈、樹木剪定／海老名の大櫓・有馬のはるにれ維持管理／秋葉山古墳群の枯損木伐採／史跡相模国分寺跡塔跡基壇補修／史跡相模国分寺跡地内フェンス修理／旧今福家住宅文書蔵・表門保存調査修理設計 など

ウ 文化財保護審議会の開催

第1回 海老名市文化財保護審議会 R7.8.18

海老名市指定重要無形民俗文化財の指定について ほか

エ 文化財調査

旧今福家住宅文庫蔵等、国分寺銅鐘

オ 旧今福家住宅保存修理設計

文庫蔵、表門、塀について保存修理のための現況調査を行い、修理の設計を行いました。

カ 天然記念物保存修理

海老名の大櫓：支柱の追加設置、
建仁寺垣の補修

有馬のはるにれ：緊急剪定

キ 文化財防火デー

文化財防火デーにあわせ、
中野八幡宮で避難訓練、放水訓練を実施



中野八幡宮 放水訓練

(2) 埋蔵文化財調査事業

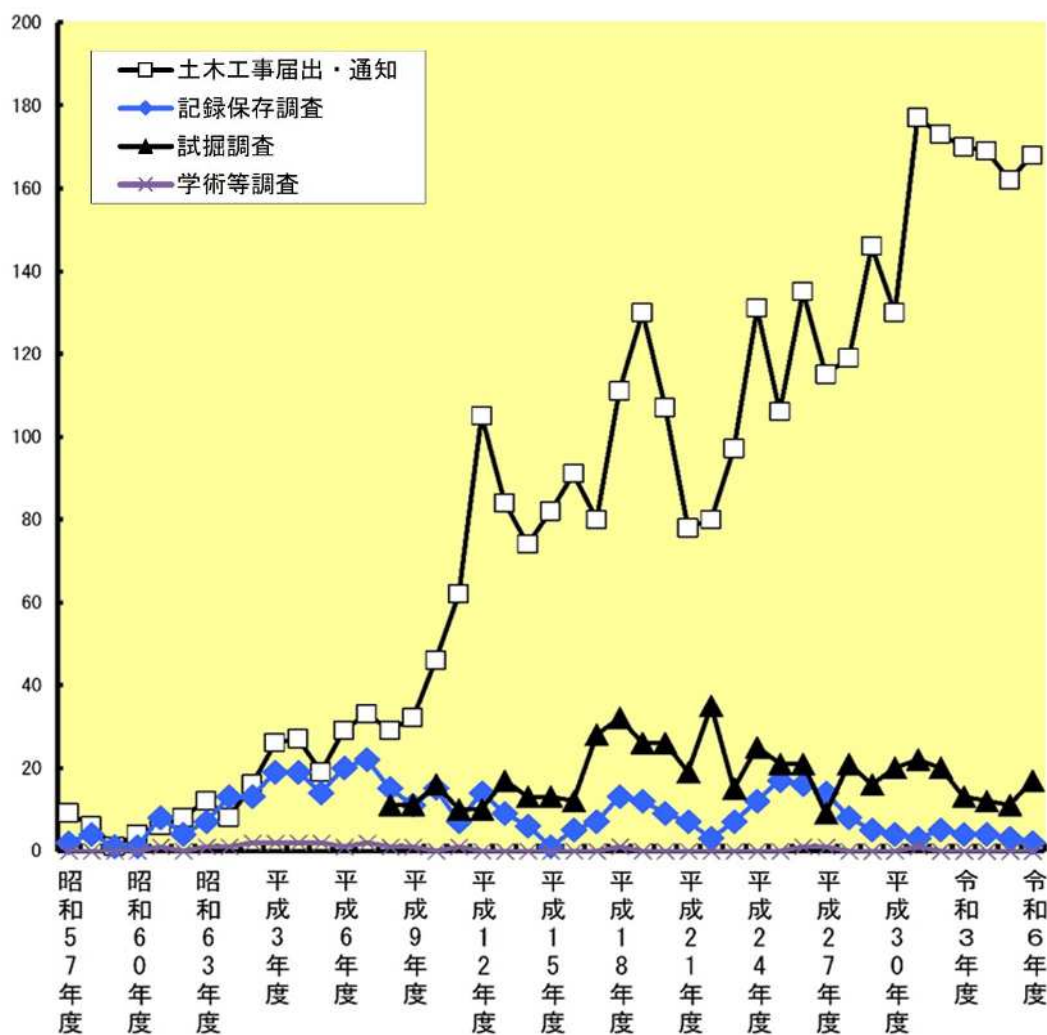
ア 開発工事等の前の試掘等調査(13件)

(国分尼寺北方遺跡、大谷市場遺跡、杉久保遺跡、No. 8遺跡・No. 63遺跡、大谷下浜田遺跡、大谷真鯨遺跡、河原口坊中遺跡、上今泉中原遺跡、No. 27遺跡、本郷中谷津遺跡)

イ 個人住宅建築に伴う発掘調査(2件)

(国分尼寺北方遺跡、御屋敷遺跡)

海老名市内における埋蔵文化財に関する届出等件数の推移



3 文化財の活用

保存した文化財に広く市民が親しむために、市民関係者の意見提言を取り入れて歴史文化の学習や憩いの場づくりを進め、地域のまちづくり、商業や観光にも活用できるように整備することが重要な課題となっています。

(1) 海老名市温故館

令和7年度 開館日数 342日 来館者数 14,996名

年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
来館者数	14,040	13,369	14,996

ア 企画展

- ・「～戦後から80年～ 出征兵士の御守」

開催期間 R7.8.8～R7.10.5

期間中来館者 2,327名

出征した村民・町民、またはその家族が大切に保管していた実際の持ち物や手紙、御守、記録等を展示紹介しました。

・共催：かながわの遺跡展「あつまれ!!かながわのはにわ」

開催期間 R 7. 12. 18～R 8. 1. 25

期間中来館者 3, 197名

共同主催 神奈川県教育委員会(埋蔵文化財センター)

横須賀市自然・人文博物館

神奈川県内出土の埴輪を展示しました。



かながわの遺跡展
展示開設の様子

イ ミニ展示

・「秋葉山古墳群史跡指定20周年記念ミニ展示」

開催期間 R 7. 6. 27～R 7. 11. 30

期間中来館者 5, 136名

史跡指定20周年を記念し、1号墳～5号墳出土の土器等を展示しました。

・「市指定重要無形民俗文化財指定記念「海老名の祭囃子」パネル展示

開催期間 R 7. 10. 8～R 7. 12. 9

期間中来館者 2, 090名

令和7年9月29日に「海老名の祭囃子」を市指定重要無形民俗文化財に指定したことに伴い、「海老名の祭囃子」、各地区の囃子団体についてパネルで紹介しました。

ウ 展示資料貸出

神奈川県教育委員会、茅ヶ崎市教育委員会、福祉政策課

エ 維持管理ほか

建物清掃、警備、空調修理、エレベーター保守、自動火災報知機修理、展示ケース修理

(2) 歴史資料収蔵館

令和7年度 開館日数 255日 来館者 305名 資料閲覧者 225名
閲覧数 825件

年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
来館者数	307	320	305

ア ミニ収蔵品展

・「海老名町と有馬村 合併70周年」

展示期間 R 7. 7. 18～R 7. 9. 28

昭和30年有馬村役場議会綴、昭和30年海老名町議会議決書や当時の公印を展示公開しました。

・デジタルアーカイブ「えびなの歴史」公開記念

～海老名市域の絵葉書と明治から昭和の写真～

展示期間 R 8. 3. 20～R 8. 5. 10

海老名市デジタルアーカイブ「えびなの歴史」を令和8年3月1日に公開したことから、公開資料の中から、絵葉書、写真の一部を展示しました。



ミニ展示の様子
(海老名町と有馬村 合併70周年)

イ 寄贈資料 手紙・御守など文書類

ウ 維持管理 建物清掃、警備、屋上防水修理、階段踊り場建具防水修理

エ 資料整理 寄贈文書資料など

(3) 文化財活用事業

ア えびな文化財探求舎体験講座

- ① 石器づくり 7月29日 参加者 16名
- ② 勾玉・瓦づくり 7月30日、7月31日 参加者 93名

イ えびな文化財探求舎講演会

秋葉山古墳群指定 20 周年記念講演会
 ～秋葉山古墳群と南関東の出現期古墳を再考する～
 講演日 7月17日 参加者 149名

ウ 相模国分寺跡復元アプリ「相模国分寺360」の活用

エ 相模国分寺跡あそびのひろば

4、5、9、10、11、3月の6回開催
 相模国分寺跡 参加者約300～350名
 その他平日に不定期開催

オ 海老名市デジタルアーカイブ「えびなの歴史」公開

公開日 3月1日
 ・ワークショップ開催 3月26日 参加者 14名

カ 文化財案内板等整備

文化財案内板、自然と歴史のさんぽみち案内板板面貼替

キ 文化財ガイド

- ・-国指定史跡秋葉山古墳群指定20周年記念-
 「新緑の秋葉山古墳を歩く」
 R 7. 6. 1 参加者 17名
- ・「海老名駅周辺と廃駅と遺跡を巡る」
 R 7. 12. 20 参加者 34名
- ・「海老名市内の横須賀道路を歩く」
 R 8. 3. 7 参加者 36名
- ・武蔵国分寺跡見学バスツアー
 R 7. 10. 4 事前勉強会
 R 7. 10. 18 当日参加者 30名
- ・国登録有形文化財嶋崎家住宅見学会
 R 7. 11. 29 参加者 45名

ク 郷土芸能の公開

ささら踊りの出前事業

- R 7. 5. 10/10. 8 大谷小学校 3年生
- R 7. 9. 25 杉本小学校 3年生
- R 7. 10. 31 今泉小学校 3年生
- R 7. 7. 9 相模ささら踊り大会出演（藤沢市）
- R 7. 10. 25 えびな郷土芸能祭
 - ・ワークショップ 参加者 16名
 - ・本公演 来場者数 約400名
- R 7. 1. 25 新春はやし叩き初め大会
 来場者数 約600名

ケ その他

文化財ガイド養成講座（海老名ガイド協会共催）



デジタルアーカイブ公開



嶋崎家住宅見学会の様子



武蔵国分寺跡見学の様子



郷土芸能祭の様子

4 指定・登録文化財等一覧

(令和8年4月1日時点)

国指定

●重要文化財

No.	名称	所在地	指定年月日	時代
1	国分寺・銅鐘	国分南一丁目25番38号	大正12年8月4日	鎌倉
2	龍峰寺・木造千手観音立像	国分北二丁目13番40号	大正14年4月24日	平安～鎌倉

●史跡

No.	名称	所在地	指定年月日	時代
1	相模国分寺跡	国分南一丁目1925番2ほか	大正10年3月3日	奈良～平安
2	相模国分尼寺跡	国分北二丁目3220番ほか	大正9年4月3日 大正14年3月19日 追加 大正20年3月28日 追加	奈良～平安
3	秋葉山古墳群	上今泉四丁目841番101	平成17年7月14日	古墳

国登録

●登録有形文化財

No.	名称	所在地	指定年月日	時代
1	旧今福家住宅文庫蔵	中新田一丁目1495-5	平成30年11月2日	江戸
2	旧今福家表門及び塀	中新田一丁目1495-1	平成30年11月2日	江戸
3	旧今福家住宅裏門	中新田一丁目1495-1	平成30年11月2日	大正
4	嶋崎家住宅主屋	上郷一丁目224-2ほか	令和3年10月14日	明治後期
5	嶋崎家住宅離れ	上郷一丁目224-2ほか	令和3年10月14日	昭和3年
6	海老名市温故館(旧海老名村役場)	国分南一丁目6番33号	令和3年10月14日	大正7年

県指定

●重要文化財

No.	名称	所在地	指定年月日	時代
1	海老名市上浜田遺跡出土埴輪(6点)	神奈川県教育委員会所蔵	平成13年2月13日	縄文

●無形民俗文化財

No.	名称	所在地	指定年月日	時代
1	相模のささら踊り	—	平成20年2月5日	—

●史跡

No.	名称	所在地	指定年月日	時代
1	上浜田中世建築遺構群	浜田町5番13号	昭和56年2月10日	鎌倉～室町

●天然記念物

No.	名称	所在地	指定年月日	時代
1	海老名の大櫓	国分南一丁目23	昭和29年3月30日	—
2	有馬のはるにれ	本郷3881番地	昭和29年7月27日	—

市指定重要文化財

●重要有形文化財

No.	名称	所在地	指定年月日	時代
1	正覺寺・十一面觀世音菩薩像	門沢橋四丁目13番13号	昭和49年4月23日	江戸
2	海源寺・大島豊後守正時坐像	中新田一丁目1番22号	昭和49年4月23日	江戸
3	豊受大神・絵馬3面	杉久保北二丁目22番1号	昭和49年4月23日	江戸
4	龍峰寺・觀音堂(旧清水寺本堂)	国分北二丁目13番40号	昭和50年3月19日	江戸
5	龍峰寺・仁王門(旧清水寺)	国分北二丁目13番40号	昭和50年3月19日	江戸
6	龍峰寺・仁王像(旧清水寺)	国分北二丁目13番40号	昭和50年3月19日	江戸
8	本覺寺・大日如来坐像	本郷4618番地	昭和52年10月12日	江戸
9	東林寺・大日如来坐像	今里三丁目10番7号	昭和52年10月12日	江戸
10	寿閑寺・脇侍二菩薩像(普賢菩薩像、文殊菩薩像)	本郷3453番地	昭和52年10月12日	江戸
11	龍峰寺・絵馬(歌川国経筆)	国分北二丁目13番40号	昭和52年10月12日	江戸
12	有鹿神社・本殿	上郷一丁目4番41号	平成4年10月1日	江戸
13	有鹿神社拝殿天井龍の絵図(藤原隆秀筆)	上郷一丁目4番41号	平成4年10月1日	江戸
14	常念寺(現在廃寺)石造宝篋印塔 常念寺(現在廃寺)石灯籠	本郷3068番地	平成5年4月1日	江戸
15	海源寺・鐘樓門	中新田一丁目1番22号	平成6年10月20日	江戸
16	八坂神社・本殿	勝瀬9番1号	平成10年8月28日	江戸
19	渋谷神社・本殿	門沢橋四丁目11番14号	平成15年4月30日	江戸
20	中野八幡宮・本殿	中野一丁目1番1号	平成16年5月18日	江戸
21	浄久寺・長谷川家石宝篋印塔群	門沢橋四丁目11番1号	平成17年5月18日	江戸
22	浄久寺・木造阿弥陀如来坐像	門沢橋四丁目11番1号	平成17年5月18日	平安

●重要無形民俗文化財

No.	名称	所在地	指定年月日	時代
7	大谷歌舞伎(素人歌舞伎)	—	昭和50年3月19日	—
23	海老名の祭囃子	—	令和7年9月29日	—

●史跡

No.	名称	所在地	指定年月日	時代
17	瓢箪塚古墳	国分南三丁目1055番	平成10年8月28日	古墳

●天然記念物

No.	名称	所在地	指定年月日	時代
18	椿地蔵の椿	杉久保南四丁目2621番2	平成10年8月28日	—

市登録文化財

●登録有形文化財

No.	名称	所在地	指定年月日	時代
1	高札(門沢橋村)	門沢橋四丁目13番13号(宗教法人正覚寺)	令和4年11月24日	江戸
2	高札(国分村)	河原口二丁目27番3号(市立歴史資料収蔵館)	令和4年11月24日	江戸
3	高札(中新田村)	河原口二丁目27番3号(市立歴史資料収蔵館)	令和4年11月24日	江戸
4	高札(中新田村 4点)	河原口二丁目27番3号(市立歴史資料収蔵館)	令和4年11月24日	慶応4年
5	高札(中新田村)	河原口二丁目27番3号(市立歴史資料収蔵館)	令和4年11月24日	明治

●登録史跡

No.	名称	所在地	指定年月日	時代
6	三日月井戸	上今泉四丁目841番1の一部	令和6年4月23日	室町時代～昭和30年代
7	独鈷井戸	上今泉四丁目847番4の一部	令和6年4月23日	室町時代～昭和30年代



資料

1 歴代教育委員・教育長

(1) 歴代教育委員

(令和8年4月1日現在)

氏 名	教育委員の期間	教育委員長の期間	備 考
飯 田 一 寿	昭和27年11月 1 日 ～昭和30年 7 月19日	昭和28年12月 1 日 ～昭和29年10月22日	
井 上 良	昭和27年11月 1 日 ～昭和30年 7 月19日	昭和27年11月 1 日 ～昭和28年11月30日	
小 林 又 一	昭和27年11月 1 日 ～昭和30年10月19日		
山 口 重	昭和27年11月 1 日 ～昭和31年 8 月29日	昭和29年10月22日 ～昭和30年 7 月19日 ----- 昭和30年 9 月 6 日 ～昭和30年10月19日	
平 井 浩	昭和27年11月 1 日 ～昭和29年 2 月 2 日		議員委員
坂 田 勇 雄	昭和29年 2 月 3 日 ～昭和30年 7 月19日		議員委員
石 井 伴 七	昭和30年 7 月20日 ～昭和30年10月19日		議員委員
蛭 川 喜代司	昭和30年 7 月20日 ～昭和30年10月19日		旧有馬村より
濱 田 宗 直	昭和30年 7 月20日 ～昭和30年10月19日	昭和30年 7 月20日 ～昭和30年 9 月 5 日	旧有馬村より
望 月 珪 治	昭和30年10月20日 ～昭和34年 9 月30日	昭和30年10月20日 ～昭和34年 9 月30日	
井 上 徳 司	昭和30年10月20日 ～昭和31年 9 月30日		議員委員
副 島 大 介	昭和30年10月20日 ～昭和35年 9 月30日	昭和34年12月 1 日 ～昭和35年 9 月30日	
柳 田 利 治	昭和30年10月20日 ～昭和37年 9 月30日	昭和36年12月14日 ～昭和37年 9 月30日	
岡 部 正 巳	昭和31年10月 1 日 ～昭和36年 9 月30日	昭和35年10月 1 日 ～昭和36年 9 月30日	
石 渡 八重治	昭和34年12月 1 日 ～昭和42年11月30日	昭和37年10月 1 日 ～昭和42年11月30日	
青 木 吉 郎	昭和35年10月 1 日 ～昭和39年 4 月30日		
挽 野 喜 博	昭和36年12月13日 ～昭和44年12月12日	昭和43年 1 月 9 日 ～昭和44年12月12日	
古 郡 善 三	昭和37年10月 1 日 ～昭和41年 9 月30日		
宮 台 鎮 雄	昭和39年10月 1 日 ～昭和43年 9 月30日		
小 沢 庫 吉	昭和41年10月 1 日 ～昭和49年 9 月30日	昭和44年12月13日 ～昭和45年 9 月30日 ----- 昭和45年10月12日 ～昭和46年10月11日	
山 中 叡 岳	昭和43年 1 月 9 日 ～昭和55年 1 月15日	昭和46年10月12日 ～昭和50年10月 7 日	
小 泉 操	昭和43年10月 1 日 ～昭和47年 9 月30日		
池 田 武 治	昭和44年12月13日 ～昭和46年 9 月30日		

氏 名	教育委員の期間	教育委員長の期間	備 考
森 下 一 郎	昭和46年10月20日 ～昭和52年12月12日	昭和51年10月22日 ～昭和52年10月21日	
中 野 博	昭和47年10月 1 日 ～昭和55年 9 月30日		
吉 川 欣	昭和49年10月 1 日 ～昭和57年 9 月30日	昭和52年10月22日 ～昭和55年10月21日	
斎 藤 善 一	昭和52年12月13日 ～昭和60年12月12日	昭和55年10月22日 ～昭和56年12月12日 昭和56年12月17日 ～昭和57年12月16日	
岩 壁 憲 男	昭和55年 1 月16日 ～平成 4 年 1 月29日	昭和57年12月17日 ～昭和61年 1 月15日	
赤 井 孝 一	昭和55年10月 1 日 ～平成16年 9 月30日	平成 3 年10月 1 日 ～平成 4 年 9 月30日 平成 7 年10月 3 日 ～平成 8 年 9 月30日 平成 9 年 4 月 1 日 ～平成10年 3 月31日 平成15年12月13日 ～平成16年 9 月30日	
濱 田 二 郎	昭和57年10月 1 日 ～平成 6 年 9 月30日	昭和61年 1 月16日 ～平成 3 年 9 月30日 平成 5 年10月 1 日 ～平成 6 年 9 月30日	
植 木 利 光	昭和60年12月13日 ～昭和62年 6 月 1 日		依願退任
豊 田 雄 三	昭和62年 6 月 2 日 ～平成17年12月12日	平成 4 年10月 1 日 ～平成 5 年 9 月30日 平成 6 年10月 3 日 ～平成 7 年10月 2 日 平成12年10月 1 日 ～平成15年12月12日	
高 橋 哲 也	平成 4 年 1 月30日 ～平成 8 年12月26日	平成 8 年10月 1 日 ～平成 8 年12月26日	死亡退任
恩 馬 菊 枝	平成 6 年10月 1 日 ～平成14年 9 月30日	平成10年 4 月 1 日 ～平成12年 9 月30日	
大 島 正 儀	平成 9 年 4 月 1 日 ～平成19年 7 月30日	平成16年10月 1 日 ～平成19年 7 月30日	死亡退任
加 藤 沙彌子	平成14年10月 1 日 ～平成20年 9 月30日	平成20年 2 月 1 日 ～平成20年 9 月30日	依願退任
中 垣 克 久	平成16年12月22日 ～平成20年12月21日	平成20年10月 1 日 ～平成20年12月21日	公募 (H16. 12. 22)
田 中 裕 子	平成17年12月13日 ～平成25年12月12日	平成20年12月22日 ～平成21年12月12日	公募(H17. 12. 13)
		平成21年12月13日 ～平成22年12月12日	公募(H21. 12. 13)
		平成22年12月13日 ～平成23年12月12日	
松 樹 俊 弘	平成20年 2 月 1 日 ～令和 2 年 1 月31日		

氏 名	教育委員の期間	教育委員長の期間	備 考
海 野 恵 子	平成20年10月 1 日 ～令和 3 年 9 月 30 日	平成24年12月22日 ～平成26年 9 月 30 日	前任者の残任期間
		平成26年10月 1 日 ～平成27年 3 月 31 日	依願退任
難 波 淳 一	平成20年12月22日 ～平成24年12月21日	平成23年12月13日 ～平成24年12月21日	公募(H20. 12. 22)
平 井 照 江	平成24年12月14日 ～令和 6 年12月13日		
岡 部 二九雄	平成25年12月13日 ～平成29年12月12日		公募(H25. 12. 13)
酒 井 道 子	平成29年12月13日 ～令和 5 年 3 月 31 日		公募(H29. 12. 13) 依願退任
濱 田 望	令和 2 年 2 月 1 日 ～令和10年 1 月 31 日		在任中
武 井 哲 也	令和 3 年10月 1 日 ～令和 8 年 9 月 30 日		在任中
海 野 望	令和 5 年 4 月 1 日 ～令和 7 年12月12日		在任中
藤 吉 ひとみ	令和 6 年12月14日 ～令和10年12月13日		在任中

(2) 歴代教育長

氏 名	教育委員の期間	教育長の期間	備 考
今 福 祥	昭和27年11月 1 日 ～昭和28年 3 月 31 日	昭和27年11月 1 日 ～昭和28年 3 月 31 日	
塩 脇 文	昭和28年 4 月 1 日 ～昭和34年 7 月 31 日	昭和28年 4 月 1 日 ～昭和34年 7 月 31 日	
山 本 寛 次	昭和34年 9 月11日 ～昭和43年 2 月12日	昭和34年 9 月11日 ～昭和43年 2 月12日	
市 川 治 満	昭和43年 2 月13日 ～昭和51年 4 月18日	昭和43年 2 月13日 ～昭和51年 4 月18日	
高 柳 舜	昭和51年 5 月17日 ～昭和63年 9 月30日	昭和51年 5 月17日 ～昭和63年 9 月30日	
亀 井 英 一	昭和63年10月 1 日 ～平成 7 年12月 1 日	昭和63年10月 1 日 ～平成 7 年12月 1 日	
牛 村 忠 雄	平成 8 年 4 月 1 日 ～平成20年 9 月30日	平成 8 年 4 月 1 日 ～平成20年 9 月30日	
沖 原 次 久	平成20年10月 1 日 ～平成24年 9 月30日	平成20年10月 1 日 ～平成24年 9 月30日	
瀬 戸 清 規	平成24年12月22日 ～平成25年 8 月 9 日	平成24年12月22日 ～平成25年 8 月 9 日	平成25年 8 月 9 日辞職
伊 藤 文 康	平成25年10月17日 ～平成27年 3 月31日	平成25年10月17日 ～平成27年 3 月31日	前任者の残任期間 平成27年 3 月31日辞職
	—	平成27年 4 月 1 日 ～令和 9 年 3 月31日	改正地教行法による 新教育長

2 附属機関委員名簿

(令和8年4月1日時点)

(1) 海老名市文化財保護審議会

役職名	氏名	所属等
委員	浜 田 弘 明	桜美林大学教授
	片 山 兵 衛	長春師範大学客員教授 元神奈川県立高等学校教諭、元海老名市社会教育指導員
	山 本 勉	清泉女子大学名誉教授、鎌倉国宝館館長、半蔵門ミュージアム館長、東京国立博物館名誉館員
	井 上 泰	相模原市立公文書館職員
	海老澤 模奈人	東京工芸大学教授
	青 木 敬	國學院大學文学部教授
	高 久 舞	帝京大学 文学部日本文化科学 講師 國學院大學 文学部日本文学科 兼任講師
専門委員	加 藤 仁 美	元海老名市景観審議会委員
	長 澤 可 也	湘南工科大学工学部名誉教授
	鹿 野 陽 子	岐阜県立国際園芸アカデミー客員教授

(2) 海老名市奨学生選考委員会

役職名	氏名	所属等
委員	石 垣 幸 子	民生委員児童委員
	坂 野 千 幸	有鹿小学校長
	梶 山 博 考	海老名中学校長
	浅 井 大 輔	有馬中学校長
	麻 生 仁	海西中学校長
	小 宮 洋 子	柏ヶ谷中学校長
	小 林 丈 記	大谷中学校長
	久保谷 由美子	今泉中学校長
	藤 原 敬 子	神奈川県立有馬高等学校長

(3) 海老名市立学校学校運営協議会

ア 海老名小学校

役職	氏名	所属等
委員	小田島 恵 子	学校運営に資する活動を行う者
	赤 塚 誠	学校運営に資する活動を行う者
	三 部 昭 一	地域住民
	日下部 敬	保護者
	萩 原 小百合	学識経験者
	梶 山 博 考	学識経験者
	檀 浦 かおり	校長
	楠 祐 子	教頭
	風 間 大 輔	教職員

イ 柏ヶ谷小学校

役職	氏名	所属等
委員	山 崎 久 男	学識経験者
	大 矢 和 正	地域住民
	秋 本 博 久	地域住民
	森 田 博 明	地域住民
	増 田 芳 夫	地域住民
	川 島 一 起	地域住民
	松 本 孝 夫	地域住民
	齊 藤 裕 子	学校運営に資する活動を行う者
	萩 原 正 規	地域住民
	鈴 木 佳 子	学校運営に資する活動を行う者
	小 林 麻 衣	保護者
	藤 原 絵里奈	学校運営に資する活動を行う者
	石 井 友 紀	校長
	高 橋 一 子	教頭
	鈴 村 理 恵	教職員

ウ 有鹿小学校

役職	氏名	所属等
委員	碓 井 雅 巳	学識経験者
	鍵 渡 正 徳	学識経験者
	石 垣 幸 子	地域住民
	北 川 八重子	学校運営に資する活動を行う者
	染 谷 満里子	地域住民
	田 中 由美野	学校運営に資する活動を行う者
	伊 藤 恵美子	地域住民
	笠 折 麻利江	地域住民
	池 澤 誠 也	地域住民
	坂 野 千 幸	校長
	土 谷 政 巳	教頭
	宮 下 翔 太	教職員
	柴 田 稜 介	教職員

エ 有馬小学校

役職	氏名	所属等
委員	山 口 慎 二	地域住民
	湯 本 千 里	学校運営に資する活動を行う者
	小 松 明	地域住民
	村 山 紀 行	地域住民
	猪 熊 啓 子	地域住民
	小 林 里 実	地域住民
	北 村 真 理	学識経験者
	住 田 晶 子	校長
	内 山 大 輔	教頭
	片 岡 香 子	教職員

オ 大谷小学校

役職	氏名	所属等
委員	石 井 正 雄	学校運営に資する活動を行う者
	藤 澤 ゆかり	学校運営に資する活動を行う者
	今別府 淳 子	学校運営に資する活動を行う者
	桐 生 行 雄	地域住民
	吹 越 真佐美	地域住民
	鈴 木 竜 也	地域住民
	ホーランド 佳奈	地域住民
	大 乗 文 哉	地域住民
	古 畑 恒	校長
	岩 上 克 成	教頭
	山 田 直 子	教職員

カ 上星小学校

役職	氏名	所属等
委員	栗 山 明 郎	地域住民
	樋 口 るり子	学校運営に資する活動を行う者
	仲 村 ひとみ	学校運営に資する活動を行う者
	小 島 洋 人	地域住民
	渡 部 洋 子	その他（学童クラブ職員）
	金 佳 孝	校長
	三 村 早 織	教頭
	石 川 雄一郎	教職員
	和 田 夏 凜	教職員

キ 中新田小学校

役職	氏名	所属等
委員	笠 原 祐 治	学校運営に資する活動を行う者
	鍵 渡 香代子	学識経験者
	杉 本 幸 一	地域住民
	多 田 由紀江	学識経験者
	高 田 君 恵	学識経験者
	長 濱 徳 克	学識経験者
	角 田 和 博	地域住民
	西 澤 弘 毅	地域住民
	久保田 祐 子	学校運営に資する活動を行う者
	打 野 公 一	校長
	別 府 裕 二	教頭
	片 岡 桂 太	教職員

ク 門沢橋小学校

役職	氏名	所属等
委員	牛 村 忠 雄	学識経験者
	富 塚 悟	地域住民
	西 海 明 夫	地域住民
	大 島 千 佳	地域住民
	米 山 恵	学識経験者
	大 澤 力	保護者
	仲 谷 幸 子	地域住民
	大河原 俊 一	地域住民
	大 澤 康 男	地域住民
	清 水 澄 雄	地域住民
	阿 部 百合子	地域住民
	境 景 子	校長
	中 村 昌 善	教頭
	日 野 玄 隆	教職員

ケ 東柏ケ谷小学校

役職	氏名	所属等
委員	増 田 英 樹	地域住民
	芳 賀 敬 子	学識経験者
	橋 本 絵美里	学校運営に資する活動を行う者
	植 木 由美子	学校運営に資する活動を行う者
	海 野 望	地域住民
	牛 腸 あきな	保護者
	二 見 吉 男	地域住民
	柳 下 泰 介	地域住民
	瀬戸口 壮	学校運営に資する活動を行う者
	工 藤 真	地域住民
	青 山 廣 文	地域住民
	守 谷 美 子	学校運営に資する活動を行う者
	高 橋 典 嗣	学識経験者
	小 池 一 美	地域住民
	坂 本 佳 菜	地域住民
	古 田 守 一	地域住民
	松 下 徹	地域住民
	奥 田 五 成	校長

コ 社家小学校

役職	氏名	所属等
委員	津々木 美 幸	学校運営に資する活動を行う者
	三 田 英 樹	学校運営に資する活動を行う者
	大 乗 文 孝	学識経験者
	佐々木 宏 文	学校運営に資する活動を行う者
	春日井 美 穂	学校運営に資する活動を行う者
	米 山 恵	学識経験者
	曾 我 幸 治	学校運営に資する活動を行う者
	金 子 幸 枝	地域住民
	金 子 秀 徳	地域住民
	山 中 伸 之	地域住民
	小 松 奈津美	保護者
	尾 崎 由 美	校長
	大 部 信 介	教頭
	重 岡 咲 子	教職員

サ 杉久保小学校

役職	氏名	所属等
委員	伊 藤 健 三	学識経験者
	岩 崎 佐容子	学校運営に資する活動を行う者
	金 子 由美子	学校運営に資する活動を行う者
	佐 藤 憲 一	地域住民
	山 室 修 次	学識経験者
	山 口 勝 広	保護者
	和 田 波 代	校長
	坂 田 美 帆	教頭
	山 田 優	教職員
	東 優 也	教職員

シ 今泉小学校

役職	氏名	所属等
委員	和 泉 雅 幸	学識経験者
	久保谷 由美子	学識経験者
	中 野 隆 則	学校運営に資する活動を行う者
	守 屋 佐千子	地域住民
	山 崎 洋	地域住民
	木 島 智恵美	学校運営に資する活動を行う者
	坂 本 和 子	保護者
	山 田 圭	校長
	中 島 忠 相	教頭
	重 岡 慎一朗	教職員

ス 杉本小学校

役職	氏名	所属等
委員	瀧 澤 美穂子	学校運営に資する活動を行う者
	藤 吉 ひとみ	学校運営に資する活動を行う者
	河 村 治	学校運営に資する活動を行う者
	鈴 木 亜 矢	学校運営に資する活動を行う者
	有 井 宏 敏	保護者
	高 橋 裕 之	地域住民
	坂 本 真 一	地域住民
	奥 泉 憲	校長
	前 田 潤 子	教頭
	鈴 木 幹 央	教職員

セ 海老名中学校

役職	氏名	所属等
委員	今 井 健一郎	学識経験者
	多 田 由紀江	学識経験者
	檀 浦 かおり	学識経験者
	三 部 昭 一	地域住民
	小田島 恵 子	地域住民
	大 島 直 子	学識経験者
	糸 賀 理 恵	保護者
	梶 山 博 考	校長
	遠 藤 章 吾	教頭
	上高原 拓 也	教職員

ソ 有馬中学校

役職	氏名	所属等
委員	木 村 和 雄	学識経験者
	橋 本 瑞 貴	地域住民
	塩 井 俊 勝	地域住民
	芝 善 孝	地域住民
	森 下 賢 人	地域住民
	三 田 英 樹	地域住民
	武 井 哲 也	地域住民
	米 山 恵	学識経験者
	大 島 千 佳	地域住民
	宮 台 功	地域住民
	浅 井 大 輔	校長
	山 口 篤	教頭
	濱 野 健 太	教職員

タ 海西中学校

役職	氏名	所属等
委員	内 藤 奈美恵	地域住民
	鍵 渡 香代子	学識経験者
	岩 崎 秀 太	学識経験者
	吉 垣 知 子	学識経験者
	山 本 典 男	学識経験者
	田 中 由美野	地域住民
	今 福 幸 世	地域住民
	麻 生 仁	校長
	山 口 恭 子	教頭
	盛 智 史	教職員

チ 柏ヶ谷中学校

役職	氏名	所属等
委員	羽 野 健 二	地域住民
	小 林 麻 衣	地域住民
	澁 谷 清 美	学校運営に資する活動を行う者
	橋 本 絵美里	地域住民
	寺 和 彦	地域住民
	二 見 吉 男	地域住民
	石 田 誠	地域住民
	海 野 望	地域住民
	金 川 直 美	地域住民
	佐 藤 充 明	地域住民
	佐 藤 勇 紀	地域住民
	渡 辺 優 士	地域住民
	小 宮 洋 子	校長
	森 藤 岳 彦	教頭

ツ 大谷中学校

役職	氏名	所属等
委員	村 松 かおり	学識経験者
	秋 庭 博 行	学識経験者
	吹 越 真佐美	地域住民
	洞 口 交 子	地域住民
	岩 崎 佐容子	地域住民
	吉 田 守	地域住民
	大 塚 真 樹	地域住民
	石 井 正 雄	地域住民
	重 岡 慎一朗	保護者
	鈴 木 剛	地域住民
	小 林 丈 記	校長
	大 矢 貴 史	教頭

テ 今泉中学校

役職	氏名	所属等
委員	栗 山 明 郎	地域住民
	樋 口 るり子	地域住民
	櫻 井 大 輔	学識経験者
	山 田 圭	学識経験者
	宮 下 良 雄	地域住民
	金 田 ゆかり	地域住民
	岩 崎 恵	保護者
	久保谷 由美子	校長
	中 川 木 拳	教頭
	小 島 洋 平	教職員

(4) 海老名市教育支援センター運営協議会

役職	氏名	所属等
委員	植 木 毅	海老名警察署生活安全課長
	藤 原 敬 子	神奈川県立有馬高等学校長
	浅 井 大 輔	有馬中学校長
	打 野 公 一	中新田小学校長
	年 縄 宏	保護司会代表
	和 田 弘 文	民生委員児童委員代表
	城 田 美弥子	厚木児童相談所子ども支援第2課長
	藤 本 理 恵	子育て相談課長
	真 部 哲 治	海老名市医師会
	山 田 佳 子	わかば学園長
	芳 川 玲 子	星槎大学専任教授

(5) 海老名市いじめ問題対策連絡協議会委員名簿

役職	氏名	所属等
委員	植 木 毅	海老名警察署生活安全課長
	梶 山 博 考	中学校長代表
	打 野 公 一	小学校長代表
	大 畠 美由紀	厚木児童相談所 児童福祉司
	秋 庭 博 行	海老名市人権擁護委員
	小 林 正 稔	しらかばこども家庭支援ステーション副所長

(6) 海老名市社会教育委員会議

【委嘱期間：令和8年6月1日～令和9年5月31日】

役職	氏名	所属等
委員	金 田 ゆかり	家庭教育の向上に資する活動を行う者 (元今泉中学校PTA会長)
	栗 山 明 郎	社会教育関係者 (海老名市自治会連絡協議会代表)
	里 村 修 平	社会教育関係者 (海老名市文化芸術協会代表)
	三 田 英 樹	学識経験者 (青健連今里支部長)
	庄 司 高 子	家庭教育の向上に資する活動を行う者 (海老名市PTA連絡協議会副会長)
	中 谷 美 砂	社会教育関係者 (海老名市スポーツ協会代表)
	中 野 隆 則	学識経験者 (元青少年指導員連絡協議会会長)
	橋 本 絵美里	学識経験者 (元柏ヶ谷中学校PTA会長)
	松 島 希	社会教育関係者 (海老名市学童保育連絡協議会代表)
	和 田 波 代	学校教育関係者 (海老名市小中学校長会連絡協議会代表)

3 海老名市教育委員会のあゆみ

明治	5	学制発布
	6	大谷・今泉・国分学舎等が開校
	22	町村制施行(海老名村・有馬村)
	25	有馬小学校開校
	42	海老名小学校開校
大正	10	相模国分寺跡が国指定史跡に指定
昭和	22	海老名中学校開校
		有馬中学校開校
	25	海老名村が海老名町となる
	30	海老名町と有馬村が合併
	31	有馬小学校開校
	39	柏ヶ谷小学校開校
	43	教育委員会：総務課、社会教育課、学校教育課
	44	大谷小学校開校
	46	市制施行(海老名市)
	47	上星小学校、中新田小学校開校
	48	門沢橋小学校開校
		学校給食センター操業開始
		小学校・中学校給食の開始
	49	海西中学校開校
	50	東柏ヶ谷小学校開校
	51	柏ヶ谷中学校開校
	53	社家小学校開校
		連合運動会の開始
	54	杉久保小学校開校
	55	大谷中学校開校
		中央公民館開館
	56	今泉小学校開校
		中学校給食の廃止(牛乳給食へ切替え)
	57	杉本小学校開校
		海老名市立郷土資料館「海老名市温故館」開館
	59	今泉中学校開校
	60	海老名市立図書館・教育センターが開館
平成	元	海老名市役所庁舎移転
		【事務局機構改革】
		教育総務部：総務課、学校教育課、指導室、教育センター、学校給食センター、南部学校給食センター
		社会教育部：社会教育課、体育課、中央公民館、図書館、青少年相談所
	6	宮城県白石市と姉妹都市締結・教育交流開始
		【機構改革】
		○事務局
		教育総務部：総務課、学校教育課、指導室
		生涯学習部：生涯学習課、体育課
		○出先機関
		教育センター、学校給食センター、南部学校給食センター、中央公民館、図書館、青少年相談所
	7	海老名市立有馬図書館が開館
		野外教育施設富士ふれあいの森開所
	9	相模国分尼寺跡が国指定史跡に指定
		【事務局機構改革】
		○事務局
		教育総務部：総務課、学校教育課、指導室
		生涯学習部：生涯学習課、青少年課、体育課
	10	海老名市立青少年会館が開館

平成	14	完全学校週五日制が開始
		【機構改革】
		○事務局
		教育総務部：教育総務課、学校教育課、指導室
		生涯学習部：文化財課、生涯学習課、青少年課、スポーツ課
		○出先機関
		教育センター、学校給食センター、南部学校給食センター、図書館
	16	小学校で英語活動の勉強が開始
	17	秋葉山古墳群が国指定史跡に指定
	20	学校給食センター、南部学校給食センターの民間委託
		【機構改革】
		○事務局
		教育部：教育総務課、学校教育課、学校支援課、生涯学習文化財課、青少年課
		○出先機関
		教育センター、中央図書館
	22	海老名市立歴史資料収蔵館が開館
		【機構改革】
		教育部：教育総務課、学校教育課、学校支援課、社会教育課、教育センター
		青少年会館閉館
	23	市内小中学校のプールを廃止し、公共プールを使用した水泳指導の開始
		中央公民館閉館
	24	海老名市食の創造館が開館
		【機構改革】
		教育部：教育総務課、学校教育課、教育指導課
	26	海老名市教育支援センターが開所
	27	海老名市立中央図書館がリニューアルオープン
	28	【機構改革】
		教育部：教育総務課、就学支援課、教育支援課、学び支援課
令和	2	新型コロナウイルス感染症に伴う学校臨時休業
	3	海老名市立有馬図書館・門沢橋コミュニティセンターがリニューアルオープン
		今泉小学校増築校舎完成
	5	海老名市食の創造館別館が開館
	6	中学校給食の完全実施
	7	フルインクルーシブ教育の推進
		全小中学校の屋内運動場に空調を設置完了(R 2～R 7)



神奈川県 海老名市教育委員会 教育部 教育総務課 総務係
〒 243-0422 海老名市中新田 377 番地 えびなこどもセンター
Tel 046-235-4916 (直通)
Fax 046-231-0277
E-mail kyoiku-soumu@city.ebina.kanagawa.jp

